

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

全国共通電話番号



0570-01-9000 (商品該当番号：71)

受付時間：

平日 9:00～20:00 土・日・祝日 10:00～17:00(1月1日～1月3日を除く)

お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号「71」または「デジタルカメラ」とお話しください。

全国64カ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。

自動車電話・PHSをご使用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。

※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売(株)販売窓口にてご購入ください。
なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

修理サービスご相談窓口

同梱の「修理サービスご相談窓口」(別紙)でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社 <http://canon.jp/bebit/>

キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報 <http://canon.jp/DC/>

キヤノン販売株式会社 サポート <http://canon.jp/support/>

Canon Image Gateway <http://www.imagegateway.net/>

CDI-J069-010

© 2003 CANON INC.

PRINTED IN CHINA

Canon デジタルカメラ PowerShot A300 カメラユーザーガイド

Canon

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A300

カメラユーザーガイド

CANON
iMAGE DiGiC
GATEWAY

- ・最初に「ご使用前に」(p.13)をお読みください。
- ・ソフトウェアのインストールと画像の取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをお読みください。
- ・すぐにお使いになりたいときは、次ページの「クイックスタート」をお読みください。撮影、再生、消去の操作方法を簡単に説明しています。
- ・各プリンターに同梱されている使用説明書もお読みください。



CDI-J069



Exif Print



DPOF



DIRECT PRINT



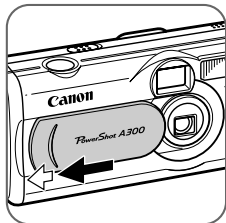
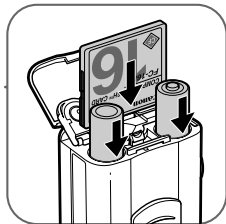
BUBBLE JET DIRECT

クイックスタート

1

電池とCFカードを入れる (p.20)

CFカードスロット/バッテリーカバーを開き、電池とCFカードを入れます。




レンズカバーを開けたあと、さらに矢印の方向にスライドして電源を入れる (p.28)

ファインダー横の緑色のランプが点滅します。

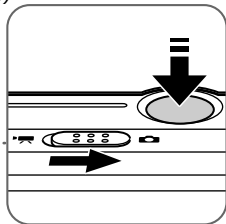
- ・日付/時刻の設定メニューが表示されたとき (p.25)
- ・メニューの表示言語を変更するとき (p.26)

2

3

撮影モードスイッチを  (静止画) にし、ピントを合わせる (p.35)

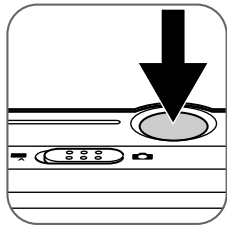
被写体にカメラを向けて、シャッターボタンを軽く押します。撮影準備が完了すると、電子音が2回鳴ります。



4

撮影する (p.35)

さらにシャッターボタンを深く押します。撮影が終了するとシャッター音が1回鳴ります。




画像を見る

撮影した画像が約3秒間表示されます。(p.36)
今までに撮影した画像を見るときは、「再生 (p.70)」をご覧ください。

5

消去する

1

画像表示中に、 ボタンを押します。

2

[消去] が選択されていることを確認して、SET ボタンを押します。



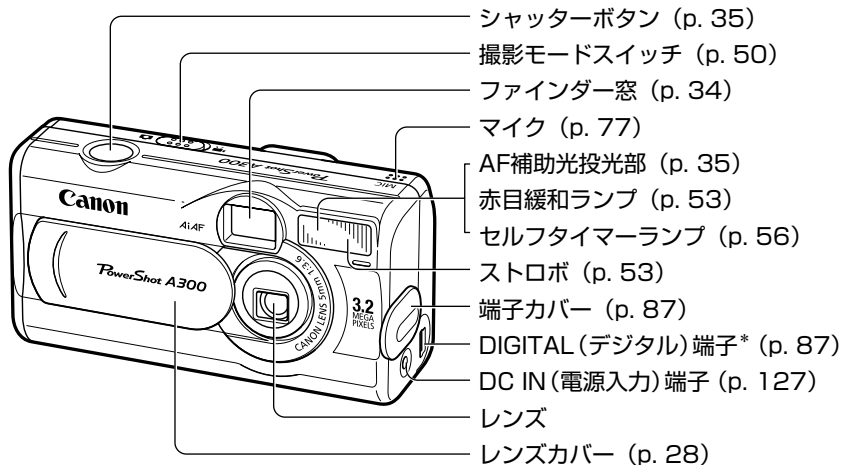
撮影が 終わったら

- ① ソフトウェアをインストールする
- ② カメラとパソコンを接続する
- ③ 画像をパソコンに転送する

- ⇒ ソフトウェアクイックガイド
⇒ 本書
⇒ ソフトウェアクイックガイド

各部の名称

前面



* 接続するケーブル

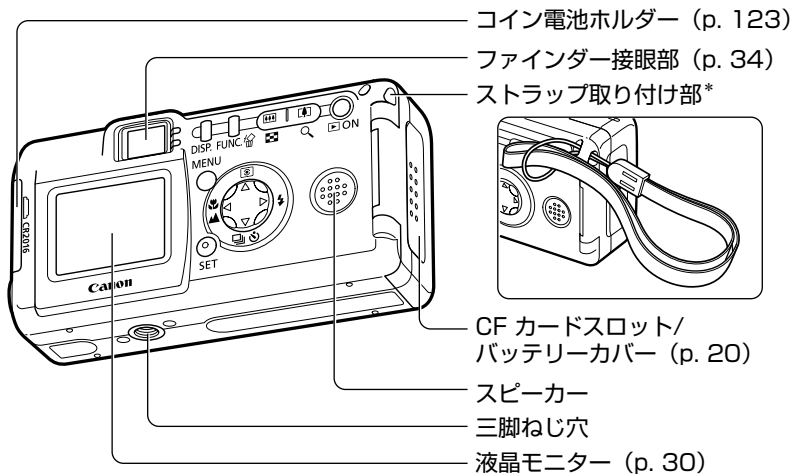
パソコン：USBインターフェースケーブル IFC-300PCU(カメラに同梱)

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売)：ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100(プリンターに同梱)

カメラダイレクト対応BJプリンタ(別売)：BJプリンタの使用説明書でご確認ください。

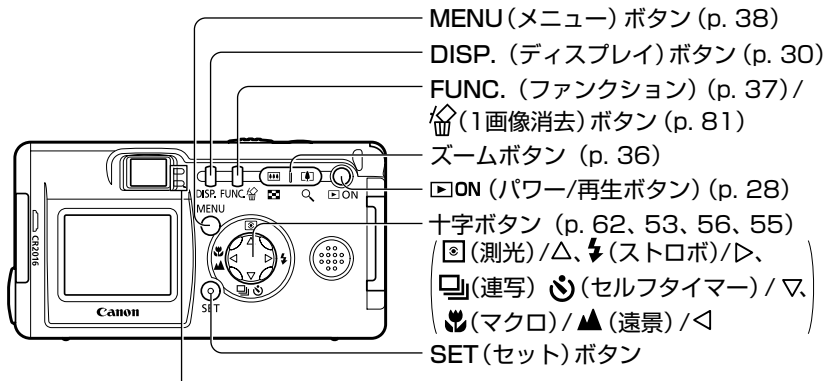
(このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)は、システムマップをご覧ください。)

背面



* リストストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

操作部



レンズカバーを開けたとき、またはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

ランプ (上)

緑点灯：撮影準備完了/通信準備完了(パソコン接続時)

緑点滅：カメラ起動中/CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中(パソコン接続時)

橙点灯：撮影準備完了(ストロボ発光)

橙点滅：撮影準備完了(手ぶれ警告)/ストロボ充電中(液晶モニターがついているとき)

ランプ (下)

黄点灯：マクロ/遠景撮影時

黄点滅：ピントが合いにくいとき(シャッターは押せませんが、フォーカスロックでピントを合わせて撮影してください)。(p. 60)

このカメラでできること


撮影しましょう

- シャッターを押すだけで、簡単に撮影できます。
- 単3乾電池2本で使用できるので、手軽に撮影を楽しめます。
- 露出補正、ホワイトバランス、色効果なども用途に合わせて変更できます。
- 音声つきで動画を撮影できます。

液晶モニターで画像を見たり、消したりしましょう

- 撮影したあとに、すぐに画像が確認でき、必要がなければすぐに削除できます。
- 最大10倍まで拡大して再生できます。

画像を使って楽しみましょう

- カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売)*や、カメラダイレクト対応BJプリンタ(別売)に接続して、すぐにプリントできます。
*カメラダイレクト対応のCPプリンターには、ダイレクトプリントマーク  が付いています。
- パソコンに画像を取り込んで、編集できます。
- 撮影した画像を、インターネット上にアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムをお友達やご家族にも公開できます。

もっと撮影を楽しみましょう

- 「マイカメラ機能」でカメラの起動音、シャッター音などをカスタマイズできます。
- 撮影した画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。

このガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。用途に合わせてお使いください。



クイックスタートガイド

- カメラの準備から撮影、再生、消去、プリント、ソフトウェアのインストール、パソコンとの接続、画像の取り込みまでの一連の基本的な使用方法



カメラユーザーガイド (本書)

- 撮影、再生、消去の操作方法
- パソコンとの接続方法
- カメラダイレクト対応プリンター (CPシリーズ)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタとの接続方法、およびプリント方法



システムマップ

- 周辺機器との接続
- 同梱品・別売品の紹介



ソフトウェアクイックガイド

- 同梱のCD-ROMに収められている、各ソフトウェアの主な機能
- パソコンに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法



ZoomBrowser EX ソフトウェアガイド (Windows) ImageBrowser ソフトウェアガイド (Macintosh)

- ZoomBrowser EX (Windows) / ImageBrowser (Macintosh) の詳細な使いかた



プリンターユーザーガイド (別売のプリンターに同梱)

- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意



カードフォトプリンター CP-100/CP-10 プリンタードライバユーザーガイド (Windows/Macintosh)

- プリンタードライバのインストール方法
- パソコンとの接続方法やプリント方法



カードフォトプリンター CP-100/CP-10 プリンター ドライバスタートガイド (別売のコンピューター接続キットに同梱)

- プリンタードライバのインストール方法
- プリンターとパソコンの接続方法







修理サービスご相談窓口


- 修理に関するお問い合わせ先

このガイドについて

表記について

見出しの横にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。下の例では、モードが 、、、 のときに操作できます。

●撮影する●

露出を補正する 

 十字ボタンの 、、、 を押すことを表します。



カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。



カメラを使用するにあたって知っておくと便利で参考になることがらを記載しています。



こんなときには

- メニュー操作がわからない……………メニューの選択と設定のしかた (p. 37)
- 撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない……………各撮影モードで設定できる機能一覧 (p. 146)
- 電源を切ると、変更した設定が保持されるのかわからない……………
- プリントのしかたがわからない……………プリントについて (p. 83)
 - FUNC.メニュー (p. 109)
 - 撮影メニュー (p. 110)
 - 再生メニュー (p. 111)
 - 設定メニュー (p. 113)
 - マイカメラメニュー (p. 115)
- 利用できる機能にどんなものがあるかわからない……………

目次

は、このカメラの機能や操作をまとめてあります。

クイックスタート	2	基本操作	28
各部の名称	4	電源を入れる/切る	28
前面	4	液晶モニターの使いかた	30
背面	5	液晶モニターに表示される情報	32
操作部	6	ファインダーの使いかた	34
このカメラでできること	7	シャッターボタンの押しかた	35
このガイドの使いかた	8	デジタルズームの使いかた	36
このガイドについて	9	メニューの選択と設定のしかた	37
ご使用の前に	13	メニュー設定項目と初期設定	40
準備	20	カメラをカスタマイズする(マイカメラ機能) ...	43
電池とCFカードを入れる	20	Canon Image Gatewayを活用する	48
日付/時刻を設定する	25	撮影する	50
言語を設定する	26	撮影モードを選ぶ	50
		記録画素数/圧縮率を変更する	51
		🚩 ストロボを使う	53
		🌸 至近距離 / 🏔️ 遠距離で撮る	55

 連続して撮る	56	回転して表示する	76
 セルフタイマーで撮る	56	音声メモを付ける	77
スティッチアシストで撮る	57	画像を自動再生する	79
動画を撮る	59	画像をプロテクトする	80
フォーカスロックで撮る	60	消去する	81
AF方式を切り換える	61	1画像ずつ消去する	81
測光方式を切り換える	62	全画像を消去する	81
露出を補正する	63	CFカードを初期化する	82
ホワイトバランスを設定する	64	プリント	83
色効果を切り換える	67	プリントについて	83
ISO感度を変更する	68	プリントメニューの選択と設定のしかた	85
ファイル番号をリセットする	69	プリンターを接続する	86
再生する	70	プリントする	89
1画像ずつ見る	70	プリントの設定をする(ダイレクトプリント時)	91
9画像ずつまとめて見る	71	DPOFのプリント指定	96
動画を見る	72	DPOFのプリント指定でプリントする	100
動画を編集する	73		

●目次●

画像送信設定 (DPOF送信指定)	102
画像送信を設定する	102
パソコンへの画像の取り込み	104
カメラとパソコンを接続して画像を取り込む	105
CFカードから直接画像を取り込む	108
メニュー・メッセージ一覧	109
FUNC.(ファンクション)メニュー	109
撮影メニュー	110
再生メニュー	111
設定メニュー	113
マイカメラメニュー	115
設定を初期設定に戻す	116
メッセージ一覧	117

付録	123
コイン電池を交換する	123
電源キット(別売)の使いかた	124
海外で使うとき	128
カメラのお手入れ	130
故障かなと思ったら	131
主な仕様	136
索引	142
各撮影モードで設定できる機能一覧	146

ご使用前に

アクセサリーについて

本デジタルカメラは、キヤノン純正のデジタルカメラ用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮できるように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。他社製のアクセサリーを組み合わせずにお使いになられたことが原因で生じた事故や故障については、弊社では保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと、長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

●ご使用の前に●

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について






あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。

-  **警告** この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
-  **注意** この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。
-  △記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。
-  ⊘ 記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します（左図：分解禁止）。
-  ● 記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します（左図：電源プラグを抜く）。

警告

カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



カメラに使用しているコイン電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。万一、幼児が電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



●ご使用の前に●

本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源ケーブルの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源ケーブルの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源ケーブルの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災の原因となります。



電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。



電源ケーブルに重いものを乗せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。漏電して、火災、感電の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などでケーブルが傷つき、火災、感電の原因となります。



本機器専用以外の電源は使用しないでください。発熱、変形して、火災、感電の原因になります。



電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。



電池を分解、改造したり、加熱しないでください。破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。



電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。



キーホルダーなどの金属類で電池の「+」と「-」の端子を接触（ショート）させないでください。発熱し、やけど、けがの原因となります。



●ご使用前に●

電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃棄の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



指定された電池を使用してください。それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。



キヤノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。



バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。



コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。



湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電、故障の原因になることがあります。



カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。けがや本体の故障の原因となることがあります。



ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。



ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物が付いたまま発光しないでください。発熱によりストロボ発光部の損傷の原因になることがあります。



故障を防ぐためのご注意

- 電磁波による誤作動、破壊を防ぐために** カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。
- 結露を防ぐために** カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。
- 結露が発生したときは** 故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。CFカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。
- 長期間使用しないときは** 電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

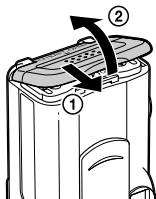
準備

電池とCFカードを入れる

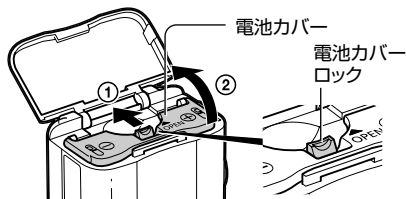
単3形アルカリ電池(同梱)、または単3形ニッケル水素電池(別売)2本と、CFカードを入れます。

1 レンズカバーが閉じて、電源が切れていることを確認します。

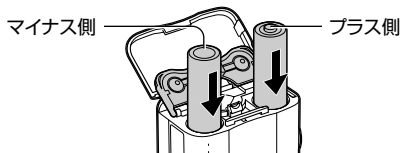
2 CFカードスロット/バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。



3 電池カバーロックを矢印の方向に押すと、電池カバーが開きます。

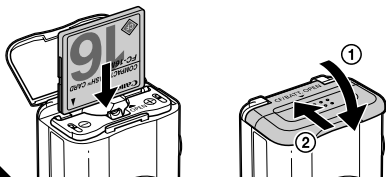


4 電池を図のように入れ、電池カバーを閉じます。



5 CFカードを図のように入れ、CFカードスロット/バッテリーカバーを閉じます。

CFカードは、しっかり奥まで差し込みます(CFカードを取り出すときは、CFカードをつまんで抜き取ります)。



- ランプが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中(パソコンに接続中)です。以下のような操作は行わないでください。記録した画像が破壊される恐れがあります。

- ・ カメラの電源を切る
- ・ CFカードスロット/バッテリーカバーを開ける
- ・ カメラに衝撃を加える

- 他社のカメラ、または他のアプリケーションソフトウェアで編集したCFカードを使用すると、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。



- 長時間お使いになる場合は、別売の家庭用電源(ACアダプターキット ACK800)をご使用ください。(p. 127)
- 別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます。(p. 124)
- お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ(別紙)をご覧ください。
- 電池性能について(p. 140)
- CFカードの種類と記録画像数の目安について(p. 139)

電池の取り扱いについて

- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池です。単3形ニッケル水素電池は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「充電式バッテリーを使う」(p. 124)をご覧ください。
- マンガン電池やリチウム電池は発熱の恐れがありますのでお使いになれません。
- アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単3形ニッケル水素電池(4本セット)をお使いになることをおすすめします。

- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。
- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電極(⊕と⊖)を逆にして入れないでください。
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画素数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。(特にアルカリ電池の場合)このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

外装シールが(一部または全体に関りなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池(裸電池)



プラス電極が平らである電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

電池残量について

電池残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。



電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。液晶モニターが消えているときは、十字ボタン、DISP.、FUNC. ボタンのいずれかを押しすと、表示されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

CFカードについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり、改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き(結露)、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。
 - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
 - 高温多湿の場所

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、またはコイン電池の残量が低下したときには、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順5から操作してください。(コイン電池の残量が低下したときは、コイン電池を交換してください(p. 123))

1 電源を入れます。(p. 28)

2 MENUボタンを押します。
撮影または再生メニューが表示されます。



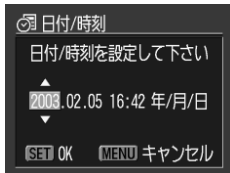
3 ◀/▶ ボタンで [設定] (設定) メニューを選びます。



4 ▲/▼ ボタンで [日付/時刻] (日付/時刻) を選び、SETボタンを押します。

●準備●

- 5** 日付と時刻を設定します。
◀/▶で設定する項目を選びます。
▲/▼で日付や時刻を設定します。



- 6** SETボタンを押します。
7 MENUボタンを押します。
!

- 日付/時刻を設定しても、画像自体に日付/時刻を入れることはできません。
- 日付を入れてプリントしたいとき(p. 91)

言語を設定する


液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

- 1** MENUボタンを押します。
撮影または再生メニューが表示されます。



- 2** ◀/▶で[設定]メニューを選びます。



- 3** ▲/▼で  (言語)を選び、SETボタンを押します。

言語	
English	Italiano
Deutsch	Norsk
Français	Svenska
Nederlands	Español
Dansk	汉语
Suomi	日本語

- 4** 言語を設定します。
▲/▼/◀/▶で言語を選びます。

- 5** SETボタンを押します。
SETボタンを押さずに、MENUボタンを押すと、言語の設定を変更せずに設定メニューに戻ります。

- 6** MENUボタンを押します。



かんたん操作

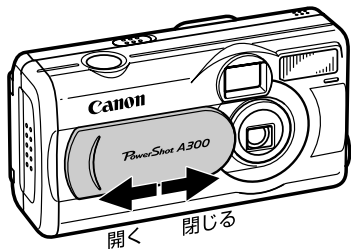
- 再生モードのとき、SETボタンを押しながらMENUボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます。(動画再生時、または別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)およびカメラダイレクト対応BJプリンタ接続時は設定できません)

基本操作

電源を入れる/切る

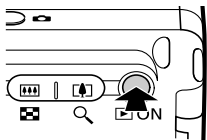
撮影モード

- 1 レンズカバーを開きます。
さらに「開く」方向にスライドすると電源が入ります。ファインダー横のランプが緑色に点滅します。
レンズカバーを閉じます。
電源が切れます。



再生モード

- 1 液晶モニターに画像が表示されるまで、**▶ON** ボタンを押します。
電源が入り、再生モードになります。



もう一度、**▶ON** ボタンを押す
電源が切れます。



- 電源を入れると起動音が鳴り、起動画面が表示されます。(p. 43、115)(起動音と起動画面を消すには、SETボタンを押しながら、電源を入れます)
- 撮影モード時に液晶モニターが非表示になっているときは、起動画面は表示されません。



●節電機能

カメラには節電機能が付いています。

撮影時

約3分間、何も操作しないと電源が切れます。

再生時

約5分間、何も操作しないと電源が切れます。

プリンター（別売）接続時

約5分間、カメラの操作を何もせず、またプリンターで何もプリントしないと、電源が切れます。

- オートプレイで自動再生中、またはパソコン接続時は、節電機能は働きません。(p. 79)
- 節電機能が働かないよう、カメラの設定を変更できます。(p. 113)
- 節電機能が「切」でも、液晶モニターがついているとき、約3分間何も操作しないと、液晶モニターは消えます。(注意：このとき、電源は切れません)何かボタンを押すと再び液晶モニターがつきます。

●節電機能から復帰するには

撮影時

レンズカバーをいったん閉じ、再度開きます。

再生時/プリンター接続時

▶ON ボタンを押します。

撮影/再生を切り換える

撮影モードと再生モードをすばやく切り換えることができます。撮影直後に画像を再生・消去するときや、画像を再生中にすぐに撮影するときに使用します。

撮影モードのとき

- ▶ON ボタンを押します。
再生モードになります。
もう一度▶ON ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。

再生モードのとき

- レンズカバーを開きます。
撮影モードになります。

液晶モニターの使用かた

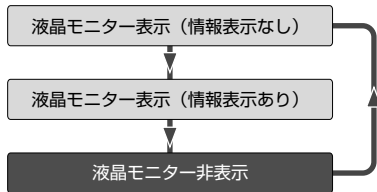
画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときには、液晶モニターを使います。



- 太陽や強い光があたると液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。

撮影モードのとき

DISP.ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。



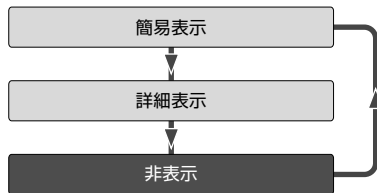
- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたとき、直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 液晶モニター表示(情報表示なし)や、液晶モニター非表示でも、撮影の設定を変更したい場合などは、液晶モニターに情報が約6秒間表示されます(そのときのカメラの設定内容によって、表示されないこともあります)。
- / 、 のときは、設定に関わらず、液晶モニターがつかず。

再生モードのとき

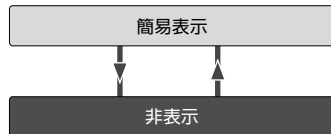
▶ON ボタンを押すと、液晶モニターがつきます。

DISP.ボタンを押すたびに、情報表示が切り換わります。

シングル再生時(1画像再生)

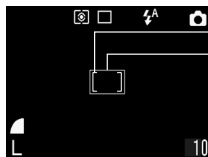


インデックス再生(9画像再生)



液晶モニターに表示される情報

撮影モード



スポット測光枠
AF枠
記録可能画像枚数
または
動画記録可能時間
(秒数)

撮影モード		p. 50
露出補正	-2...+2	p. 63
ホワイトバランス		p. 64
ISO 感度		p. 68
色効果		p. 67
圧縮率		p. 51
記録画素数	L M1 M2 S 1640 1320 1160	p. 51
ストロボ		p. 53
マクロ/遠景モード		p. 55
撮影方法		p. 56
測光方式		p. 62

動画撮影	● (赤)	p. 59
ズーム倍率*	1.3x 1.6x 2.0x 2.5x 3.2x 4.0x 5.1x	p. 36
手ぶれ警告		p. 32
バッテリー残量低下		p. 24

*デジタルズーム時に表示されます。










の情報が表示されている間にストロボ、連続撮影、セルフタイマー、マクロ、遠景、測光方式の設定ができます。情報が表示されていないときは、DISP.、十字ボタンのいずれかを押します。



- 光量不足のときには、撮影準備完了時に、上側のランプが橙色に点滅し、液晶モニターに (手ぶれ警告)が表示されます。ストロボを常時発光にするか、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

再生モード(簡易表示)

簡易表示では、次の情報が表示されます。

- ファイル番号
- 画像番号(再生画像番号/総画像数)
- 撮影日時
- 圧縮率(  )
- 記録画素数(   )
- 動画()
- プロテクト情報()






再生モード(詳細表示)

詳細表示では、さらに次の情報が表示されます。

撮影モード	   	p. 50
露出補正	-2 ··· ±0 ··· +2	p. 63
ホワイトバランス	       	p. 64
ISO感度	ISO 50 100 200 400	p. 68
色効果	    	p. 67
記録画素数(動画)	  	p. 51
ストロボ		p. 53
測光方式	  	p. 62
マクロ/遠景モード	 	p. 55

上記以外に、動画記録時間が表示されます。

画像によっては、以下の情報が表示されることがあります。

-  音声ファイル(WAVEファイル)が付いています。
-  WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
-  DCFの規格と異なる構造を持つJPEGファイルです。
-  RAW形式のファイルです。
-  認識できない形式のファイルです。

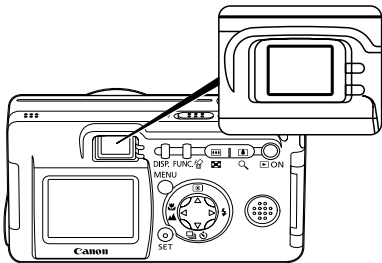


- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ファインダーの使いかた

液晶モニターを消し、ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

- 1 写したいもの(被写体)をファインダーの中央に合わせて撮影します。



● AFについて

このカメラのAF機能は、AiAF*を採用しています。

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。

AiAFを[切]にして、中央一点でオートフォーカスすることもできます。(p. 61)

* Ai = Artificial intelligence:人工知能
AF = オートフォーカス

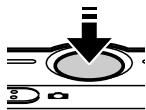
● ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて

ファインダーを使って撮影するときには、ファインダーの特性上、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレ(パララックス)が生じます。特に被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。マクロ撮影する場合には、必ず液晶モニターを使って撮影してください。

シャッターボタンの押しかた

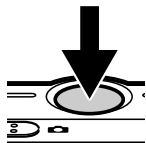
シャッターボタンの押しかたには、「半押し」と「全押し」の2段階があります。

半押し…浅く押したとき



露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。設定が完了すると操作音が鳴り、上側のランプが緑色に点灯します。ストロボが発光するときは、橙色に点灯します。(p. 6)

全押し…深く押したとき



シャッター音が1回鳴り、撮影が行われます。CFカードに記録中は上側のランプが緑色に点滅します。(p. 6)



● ストロボ充電中は撮影できません。

AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押しにすると、ピントを合わせやすくするために、AF補助光が光ることがあります。
- AF補助光は切することもできます。(p. 110) 例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。ただし、以下のことに注意してください。
 - ・ AF補助光を切ると、ピントが合いにくくなることがある。
 - ・ AF補助光を切っても、ストロボが赤目緩和オートまたはスローシンクロのときは、赤目緩和ランプが光ることがある。

撮影直後に画像を確認する

撮影直後、シャッターボタンを離しても約3～10秒間*、撮影した画像を表示しますが、次の方法で確認することもできます。

*表示時間は変更できます。(p. 110)

- シャッターボタンを全押しし続ける
- 撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す。

シャッターボタンを半押しすると解除され、撮影できます。





- 画像確認中、画像を消去できます。(p. 81)

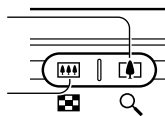
デジタルズームの使いかた

液晶モニターがついているとき、デジタルズームにより、最大約5.1倍まで拡大して撮影できます。

ズーム(画角)を調節する

 ボタン：被写体を大きく写します。

 ボタン：被写体を小さく写します。



- デジタルズームは「切」にできます。(p. 110)
- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。



- モードによって、デジタルズームが使えないことがあります。(p. 147)

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時のカメラの基本設定は、メニューを使って操作します。メニューを使った操作は、FUNC.ボタンを押す場合と、MENUボタンを押す場合があります。

FUNC.ボタンを押して設定する(撮影モードのみ)

1 FUNC.ボタンを押します。



- 液晶モニターの左端に、変更可能な設定のアイコンが表示されます。
- アイコンは、その時設定されている内容が表示されます。

2 ▲/▼ でメニュー項目を選びます。

3 ◀/▶ で設定したい内容を選びます。



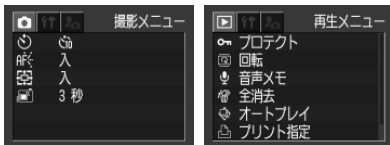
4 FUNC.ボタンを押します。

メニューが終了します。

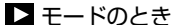
手順3のあと、すぐにシャッターボタンを押して、選んだ設定で撮影することもできます。

MENUボタンを押して設定する

- 1 MENUボタンを押します。
メニューが表示されます。



モードのとき
モードのとき
(撮影モードによって多少異なります)



- 2 ◀/▶ でメニューを切り換えます。

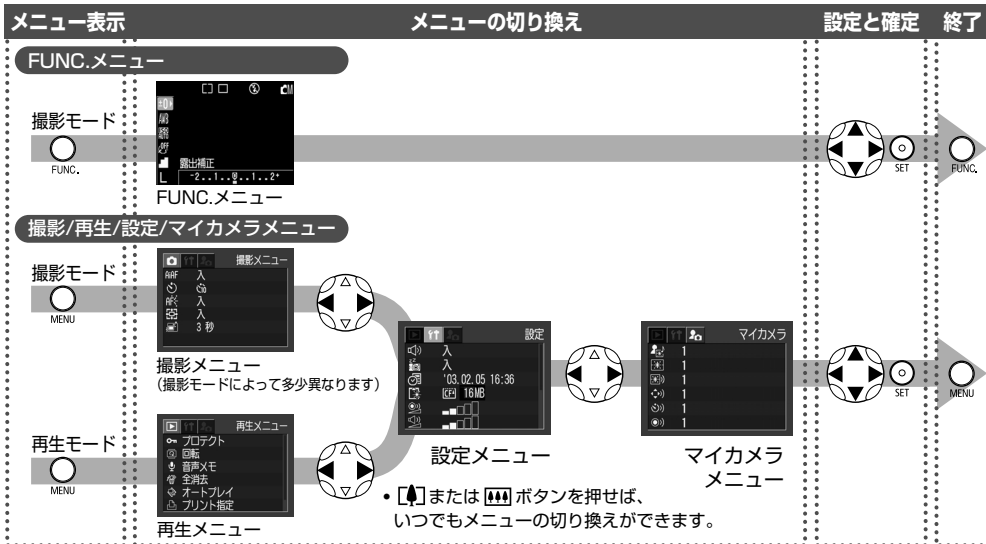
- 3 ▲/▼ でメニュー項目を選びます。

- 4 ◀/▶ で設定したい内容を選びます。
「...」のある項目では、SETボタンを押して、次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度SETボタンを押して設定内容を確定します。



- 5 MENUボタンを押します。
撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できません。










メニューの選択と設定のしかた(つづき)



メニュー設定項目と初期設定

各メニューで設定できる項目と初期設定は、次の通りです。

FUNC. ボタンで設定できる項目

メニュー項目	設定内容	* 初期設定 参照先
露出補正	-2 ~ 0* ~ +2	p. 63
ホワイトバランス	AWB* /  /  /  /  /  / 	p. 64
ISO 感度	AUTO / 50* / 100 / 200 / 400	p. 68
色効果	OFF* /  /  /  /  /  / 	p. 67
圧縮率	S /  * / 	p. 51
記録画素数	(静止画) L* / M1 / M2 / S (動画) 1640 / 1320* / 1160	p. 51

MENU ボタンで設定できる項目

メニュー項目	設定内容	参照先
 AiAF	入* / 切	p. 61
 セルフタイマー	 10秒* /  2秒	p. 56
 AF 補助光	入* / 切	p. 110
 デジタルズーム	入* / 切	p. 36
 撮影の確認	切 / 3秒* ~ 10秒 (1秒単位で設定可能)	p. 36

MENU ボタンで設定できる項目

* 初期設定

	メニュー項目	設定内容	参照先
ff 設定 メニュー (黄)	 電子音	入* / 切	p.113
	 節電	入* / 切	p.113
	 日付 / 時刻	日付 / 時刻を設定します。	p. 25
	 カードの初期化	CF カードを初期化します。	p. 82
	 シャッター音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.113
	 再生音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.113
	 起動音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.114
	 操作音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.114
	 セルフタイマー音	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.114
	 番号リセット機能	入 / 切*	p.114
	 言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語*	p. 26

●基本操作●

MENU ボタンで設定できる項目

	メニュー項目	設定内容	* 初期設定 参照先
再生メニュー (青)	プロテクト	プロテクトを設定します。	p. 80
	回転	回転して表示します。	p. 76
	音声メモ	撮影した画像に音声メモを設定します。	p. 77
	全消去	すべての画像を消去します。	p. 81
	オートプレイ	自動再生します。	p. 79
	プリント指定	プリント指定をします。	p. 96
マイカメラメニュー (紫)	送信指定	送信指定をします。	p.102
	セット	/ 1 * / /	p.115
	起動画面	/ 1 * / /	p.115
	起動音	/ 1 * / /	p.115
	操作音	/ 1 * / /	p.115
	セルフタイマー音	/ 1 * / /	p.115
	シャッター音量	/ 1 * / /	p.115

- ・ 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。(p. 146)
- ・ マイカメラメニューの設定内容 と には、好きな画面や音を登録できます。詳しくは、「マイカメラコンテンツを登録する (p. 45)」、またはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- ・ [日付 / 時刻]、[言語] 以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます。(p. 116)

カメラをカスタマイズする(マイカメラ機能)

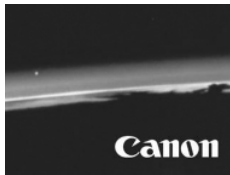
カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類から選べます。

例：起動画面

1



2



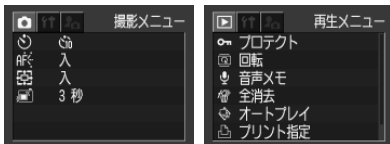
3




初期設定時は、マイカメラコンテンツの **2** にはSF関連、**3** には動物関連のコンテンツが入っています。

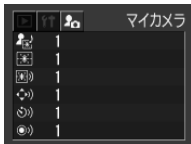
マイカメラコンテンツを変更する

- 1 MENUボタンを押します。
メニューが表示されます。



 モードのとき
モードのとき
(撮影モードによって多少異なります)

- 2 ◀/▶で[ (マイカメラ)]メニューを選びます。



- 3 ▲/▼でメニュー項目を選び、◀/▶で設定したいコンテンツを選びます。

- 4 MENUボタンを押します。



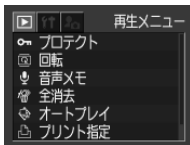
- 手順3で「セット」を選ぶと、それぞれの項目が同じテーマで選択できます。
- 音の各項目を切に設定しても、設定メニューの「電子音」が入になっているときは、電子音が鳴ります。

マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの **2**、**3** には、撮影した画像や新たに録音した音声を登録できます。同梱のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、Canon Image Gateway(オンラインフォトサービス)(p. 48)からパソコンにダウンロードした画像や音声を登録することもできます。

1 **▶ON** ボタンを押します。

2 MENUボタンを押します。
メニューが表示されます。



3 **◀▶** で [**マイカメラ**]メニューを選びます。



4 **▲/▼** でメニュー項目を選び、**◀▶** で **2**、**3** を選びます。

DISP が表示されます。



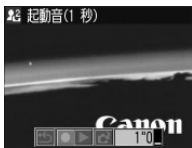
5 DISP.ボタンを押します。
「起動画面」→手順6
「起動音」、「シャッター音」、「操作音」、「セルフタイマー音」→手順7

●基本操作●

- 6** ◀/▶で登録したい画面を選び、SETボタンを押します。
→手順9へ進みます。



- 7** ◀/▶で (録音)を選び、SETボタンを押します。



録音が始まります。
一定時間が経過すると、自動的に録音を終了します。
「起動音」：1秒、「操作音」：0.3秒、
「セルフタイマー音」：2秒、「シャッター音」：0.3秒

- 8** ◀/▶で (登録)を選び、SETボタンを押します。

- 9** ◀/▶でOKを選び、SETボタンを押します。



- 10** MENUボタンを押します。



- 動画、音声メモ(p. 77)で記録した音声は、マイカメラコンテンツに登録できません。
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは、以下のファイルフォーマットにしたがっている必要があります。ただし、このカメラで撮影したCFカード内の画像は、下記フォーマットに関係なく登録できます。

●起動画面

- ・記録画像フォーマット JPEG(ベースラインJPEG)
- ・サンプリングレート 4:2:0または4:2:2
- ・画像サイズ 320×240画素
- ・ファイル容量 20KB以下

●起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

- ・記録フォーマット WAVE(モノラル)
- ・量子化ビット 8bit
- ・サンプリング周波数 11.025kHzまたは8.000kHz

・記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

上記フォーマット以外のファイルはカメラに登録できません。

たとえば、「セルフタイマー音」では、「はい、チーズ」などの掛け声を登録すると、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声し、また他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば、目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。



- マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、同梱のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

Canon Image Gatewayを活用する

このカメラをお買い求めになられた皆様には、「Canon Image Gateway」から、以下のよう
なオンラインフォトサービスをご利用いただけます。最新のサービス内容は、
<http://www.imagegateway.net>
でご確認いただけます。

サービスを利用するときは、まず会員登録(オンライン登録：無料)が必要です。登録方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

- インターネット接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
- プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は別途かかります。

Canon Image Gatewayに接続してできること

- バージョンアップ情報の電子メール配信サービスの利用
お使いのメールアドレスへ、カメラのファームウェアバージョンアップやソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報が配信されます。
- オンラインアルバムサービスの利用(無料)
画像をCanon Image Gatewayにアップロードし、ネット上に自分のアルバムを作成できます。画像に付けたコメントや音声などをアップロードすることもできますので、個性的なアルバムを作れます。また、作成したアルバムは、お友達やご家族に公開できます。
- 携帯電話アルバム通知・閲覧サービスの利用(無料)
Canon Image Gatewayに作成したアルバムを公開するお知らせメールを携帯電話に送り、そこに案内されているURLから、携帯電話でもオンラインアルバムを見ることができます。お使いの携帯電話に合わせて、画像の大きさや色数が自動的に調整されます。なお、携帯電話

からアルバムを見る場合は、カラー表示が可能な携帯電話をご利用ください。

※ 通信料金はご使用された方のご負担となります。

●マイカメラコンテンツのダウンロード(無料)

マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。Canon Image Gatewayには、多彩なコンテンツが用意されていますので、好きなものをダウンロードしてください。(コンテンツは随時更新されますので、時々確認してみてください。)ダウンロードしたコンテンツを、カメラに登録することができ、ご自分だけのオリジナルカメラを楽しめます。

●オンラインプリントサービスの利用(有料)

オンラインアルバムの画像はインターネットから、24時間いつでもプリントを注文できます。プリントは提携のプリントショップから指定の場所に配送されます。また、代金はクレジットカードもしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます*。公開されたアルバムを見たお友達やご家族の人たちも注文できます。プリントサイズはDP版、L版、2L版、A4版、A3版、ポストカードサイズに対応しており、また携

帯電話からもプリントを注文できます。

* ご利用いただけないコンビニエンスストアもあります。また、別途、手数料と消費税がかかります。

●オリジナル写真集(マイブック)作成サービスの利用(有料)

Canon Image Gatewayのオンラインアルバムをプリント/製本して、本格的なオリジナル写真週を注文できます。公開されたアルバムを見たお友達やご家族の人たちも注文できます。2種類のアルバムサイズを選択でき、また、1冊でも注文できます。なお、代金はクレジットカードもしくはコンビニ決済でお支払いいただけます*。

* ご利用いただけないコンビニエンスストアもあります。また、別途、手数料と消費税がかかります。





●ホームプリンティングサービスの利用(無料)

画面上のボタンを押すだけで、公開されたオンラインアルバム上のお好きな画像を、ご自身だけでなく、公開通知を受けたお友達やご家族もキヤノン製プリンタで印刷できます。あらかじめ画像データをダウンロードして、プリント用紙サイズに合わせてレイアウトするといった面倒な操作は一切不要です。ただし、事前にプラグインモジュールをCanon Image Gatewayからダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

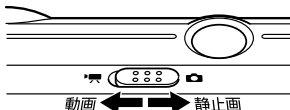
撮影する

撮影モードを選ぶ








このカメラには、次の撮影モードがあります。

	オート	ほとんどの設定をカメラまかせて撮影できます。
	マニュアル	露出、ホワイトバランスなど、自分で選択できます。
	スティッチアシスト	パノラマ合成用の画像を撮影できます。
	動画	動画の撮影ができます。


各撮影モードで設定した内容は、撮影モードを変更しても、保持されます。また、設定によっては、電源を切っても保持されます。(p. 146)



の選択

- 1 撮影モードスイッチを  に合わせます。
- 2 SETボタンを押します。
   
- 3  /  で撮影モードを選び、SETボタンを押します。

を設定する

- 1 撮影モードスイッチを  に合わせます。
動画撮影モードに切り換わります。

記録画素数/圧縮率を変更する



目的に応じて記録画素数と圧縮率(動画を除く)を変更できます。

	記録画素数		撮影の目安
L (ラージ)	2048×1536 画素	大きい ↑ ↓ 小さい	・A4 サイズまでプリントするとき
M1 (ミドル 1)	1600×1200 画素		・L サイズまたは A5 サイズをプリントするとき
M2 (ミドル 2)	1024× 768 画素		・カードサイズをプリントするとき
S (スモール)	640× 480 画素		・電子メールで画像を送るとき、より多くの画像を撮影するとき
	圧縮率		撮影の目安
s	スーパーファイン	きれい ↑ ↓ 普通	・より良い画質で撮影するとき
	ファイン		・通常の撮影をするとき
	ノーマル		・より多くの画像を撮影するとき

●動画の場合は、次の記録画素数で撮影できます。

	記録画素数
1640	640×480 画素
1320	320×240 画素
1160	160×120 画素

●撮影する●

1 FUNC.ボタンを押します。

2 ▲/▼で **□***または **■***を選びます。
*現在の設定が表示されます。



画面例：圧縮率

3 ◀/▶で圧縮率または記録画素数を選びます。



画面例：圧縮率

4 FUNC.ボタンを押します。



- 各モードで変更できる設定。(p. 146)
- 1画像の容量(目安)、CFカードの種類別記録可能画像数について。(p. 139、140)

⚡ ストロボを使う



	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
	赤目緩和 オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。ストロボ発光の際には、常に赤目緩和ランプを発光します。
	常時発光	常にストロボを発光して撮影します。
	発光禁止	撮影時にストロボは発光しません。
	スロー シンクロ	遅いシャッター速度で、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。常に赤目緩和ランプを発光します。三脚をお使いになることをおすすめします。

1 撮影したいストロボモードになるまで、 (十字ボタンの▶)を押します。








	○	○	—
	○	○	—
	—	○	△
	○	○	△
	—	○	△

○：設定可 △：最初の1画像のみ設定可

2 撮影します。
ランプが橙色に点灯するときは、ストロボが発光します。(🚫では発光しません)
・ストロボ充電中は撮影できません。

●撮影する●






- マクロでストロボを使用しますと、正しく調光されない場合があります。その場合は、ストロボを使用せず、ISO感度を上げたり、別の照明を当てて撮影してください。
- ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。
- ストロボが発光禁止およびスローシンクロのとき、暗いところではシャッター速度が遅くなり、画像がぶれることがありますのでご注意ください。
-  で撮影するとき
手ぶれしないように、カメラをしっかり持って撮影してください。
- 、 /  で撮影するとき
 での撮影よりも、シャッター速度が遅くなるので、必ず三脚をお使いください。 で撮影した画像が暗い場合、 で撮影すると、より明るい画像が得られます。



- ストロボの充電に約10秒かかる場合があります。また、液晶モニターがついているときは、充電中、ランプが橙色に点滅し、液晶モニターが消えます。充電が完了すると、ランプが橙色に点灯し、液晶モニターがつかま

す。充電時間は使用状況や電池の残量によって変わります。

- ストロボの発光は2回行われ、プリ発光し、続いてメイン発光します。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- 赤目緩和機能について
暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。このようなときは、赤目緩和オート*で撮影してください。
その場合、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。また、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」とより効果があります。

* 赤目緩和ランプが発光するときは、効果を高めるために、シャッターボタンを全押ししても、約1秒間は撮影できません。すぐに撮影したいときはストロボの設定を 、、 のいずれかにして撮影してください。

🌸 至近距離 / ▲ 遠距離で撮る



近距離
(マクロ)

レンズ前面から被写体までの距離が、5cm～20cmのときに使います。



遠距離
(遠景)

風景を撮影するときに使います。近いものと遠いものが混在していて、遠いものを撮影したいときにも使います。

1 🌸 / ▲ (十字ボタンの ◀) を押して
📷 または ▲ を表示させます。

	📷	📷	📷	📷	📹
🌸	○	○	△	△	○
▲	—	○	△	△	○

○：設定可 △：最初の1画像のみ設定可

2

撮影します。



- マクロでストロボを使用しますと、正しく調光されない場合があります。その場合は、ストロボを使用せず、ISO感度を上げたり、別の照明を当てて撮影してください。






- マクロでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーをお使いになると撮影範囲がずれます。
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲 約 56×42 mm

連続して撮る

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影速度は、約 2.2画像/秒*です。

* ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示(当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。)

1  /  (十字ボタンの▼)を(何回か)押して、 を表示させます。





2 撮影します。



- 画像を一時的に保存するための内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少長くなることがあります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

セルフタイマーで撮る



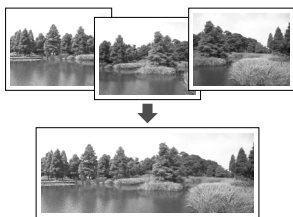
1  /  (十字ボタンの▼)を(何回か)押して、 または  を表示させます。

2 撮影します。



- シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点滅します。メニューで設定した秒数(p.110)後に撮影されます。撮影2秒前になると、点滅が速くなります。


スティッチアシストで撮る

スティッチアシストモードで撮影すると、撮影した画像をパソコンで合成し、パノラマ画像を作成できます。



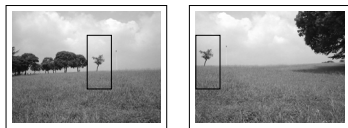
スティッチアシストモードには、撮影方向によって次の2つがあります。

	左→右	左から右方向に水平に撮影します。
	右→左	右から左方向に水平に撮影します。

-  パソコンでの画像合成には、同梱の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

スティッチは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体(目印となる被写体)を入れて撮影してください。



- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30～50%になるように撮影してください。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体が入らないように注意してください。

●撮影する●

- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。ゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド(カメラを被写体に対して平行移動)させます。

撮影する

- 1** 最初の画像を撮影します。
- 2** 最初の画像に重なる(オーバーラップ)ようにして、次の画像を撮影します。

- オーバーラップは、多少ずれても合成時に修正されます。
- ◀/▶ で撮影済みの画像に戻り、撮影し直すことができます。

3 同様の操作で3画像目以降を撮影します。




最大26画像まで撮影できます。

4 撮影が終了したらSETボタンを押します。



- このモードで変更できる設定(p. 146)。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。




動画を撮る

記録画素数は、[ (640×480)]、[ (320×240)]、[ (160×120)] を選べます。(p. 51)

1 シャッターボタンを全押しすると撮影が開始されます。

- 撮影中は、液晶モニターに、撮影秒数と赤丸が表示されます。
- 動画撮影中は、音声も同時に記録されます。

2 撮影を終了するときには、再度シャッターボタンを全押しします。

- 1回の最長撮影時間(約15フレーム/秒)
 : 約30秒*、 : 約3分、 : 約3分
 (当社測定条件による)

* 別売のCFカードFC-256MHをお使いの場合。同梱のCFカードをお使いの場合は、14秒です。

これらの時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。

これらの時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影が終了します。



- 撮影中はマイクに触れないようにしてください。
- AE、AF、ホワイトバランスは、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- 撮影後、CFカードへの記録中は緑色のランプが点滅します。このときは、撮影できません。



- このモードで変更できる設定。(p. 146)
- 音声はモノラルで録音されます。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です(同梱のDigital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています)。

フォーカスロックで撮る

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。フォーカスロックで撮影してください。

- コントラストが極端に低い被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。



- 1** ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、ファインダー中央、または液晶モニターに表示されているAF枠に収めます。
- 2** シャッターボタンを半押しし、電子音が2回鳴るまで待ちます。
- 3** カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しします。

AF方式を切り換える

AF機能は、AiAFに設定されていますが、中央1点のオートフォーカスに切り換えることができます。

<input type="checkbox"/>	入	撮影状況に応じて、5つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	切	中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実に合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

1 撮影メニューから **AiAF** (AiAF) を選びます。

メニューの選択と設定のしかた (p. 37)



2 ◀/▶ で [入] または [切] を選びます。

3 MENU ボタンを押します。
MENU ボタンの代わりにシャッターボタンを押し、設定したAF方式で撮影できます。



● デジタルズーム使用時は、中央一点のオートフォーカスになります。

測光方式を切り換える

測光方式を切り換えて撮影できます。

評価測光





逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。

中央部重点平均測光

画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。

スポット測光

液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。逆光などで被写体の周囲に強い光があるときに利用します。

- 1  (十字ボタンの▲)を(何回か)押し、、またはを表示させます。
- 2 撮影します。

露出を補正する

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときなどに露出を調整します。

1 FUNC. ボタンを押し、▲/▼で **±0*** を選びます。

*現在の設定が表示されます。



2 ◀/▶ で補正量を調整します。

- 補正量は、-2~+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとすぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC.ボタンを押します。
露出補正を解除するには、補正量を0に戻します。

ホワイトバランスを設定する



撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定すると、その光源に合った適正な色に調整できます。

	オート	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに選択します。
	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	マニュアル	白紙などを使って、その撮影下で最適なホワイトバランスを設定します。

1 FUNC.ボタンを押し、▲/▼で **AWB*** を選びます。

*現在の設定が表示されます。

2 ◀/▶でホワイトバランスを選びます。

- (マニュアル)について(p. 65)
- 設定したあと、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC.ボタンを押します。



- 色効果で (セピア)、 (白黒)を選んだときは、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙や布など、白の基準としたいものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。

1 FUNC.ボタンを押し、▲/▼で **AWB*** を選びます。

*現在の設定が表示されます。

2 ◀/▶で  を選びます。



3 カメラを白い紙や布に向け、SETボタンを押します。

- 液晶モニターを使う場合は、中央の枠いっぱいに、また、ファインダーを使う場合には画面いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めてからSETボタンを押してください。SETボタンを押すと、白データが取り込まれます。
- このあと、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押します。



- 撮影モードを **CM** にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- **CM** と **CM** では、白データの取り込みはできませんので、あらかじめ、他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- マニュアルホワイトバランスを設定するときは、ストロボを常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。
白データ取り込み時と撮影時のストロボの状態を合わせないと、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。
ストロボが赤目緩和オート/オートに設定されているときに、マニュアルホワイトバランスを設定する場合、白データ取り込みの際にストロボが発光したときは、撮影時もストロボを発光させてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、設定をリセットしても解除されません。
(p. 116)

色効果を切り換える



色効果を変えて撮影できます。

	効果切	通常はこの設定で撮影します。
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いで撮影します。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりした色合いで撮影します。
	ソフト	画像の輪郭を抑えて撮影します。
	セピア	セピア色で撮影します。
	白黒	白黒で撮影します。



1 FUNC.ボタンを押し、▲/▼で * を選びます。

*現在の設定が表示されます。


2 ◀/▶ で色効果を選びます。

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で色効果を確認できます。
- 設定したあと、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC.ボタンを押します。

ISO感度を変更する

暗いところで手ブレを抑えたり、ストロボを発光しないで撮影したいとき、あるいはシャッター速度を早くしたいときに切り換えます。

1 FUNC.ボタンを押し、▲/▼で  を選びます。

*現在の設定が表示されます。



2 ◀/▶ で感度を選びます。

3 FUNC.ボタンを押します。




- ISO感度を上げると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- AUTOを選択すると、最適な画質になる感度に設定されますが、撮影限界に達したときに自動的に感度が上がります。また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合も自動的に感度が上がります。

ファイル番号をリセットする



ファイル番号の設定方法を選びます。




入	新しいCFカードを入れるたびにファイル番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 設定メニューから、 (番号リセット機能)を選びます。

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

2 ◀▶で[入]または[切]を選び、MENUボタンを押します。



- 番号リセット機能を[切]にすると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。
- ファイル番号およびフォルダ番号について撮影した画像には、0001～9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには、100～998までの番号が割り振られます(下2桁が99のフォルダは作られません)。
- ファイル数についてひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。なお、 や  /  で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。また、他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101画像以上を保存できますが、2001以上の画像が保存されているフォルダ内の画像は、このカメラで再生できませんのでご注意ください。

再生する

1 画像ずつ見る

撮影した画像を液晶モニターに表示します(シングル再生)。

- 1 **▶ON** ボタンを押します。
最後に撮影した画像が表示されます。
- 2 **◀/▶** で表示する画像を切り換えます。
◀/▶ を押し続けると、連続して画像を表示できます。

拡大して見る

- 1 シングル再生中に、**🔍** ボタンを押します。
画像が最大10倍まで連続して表示されます。



表示位置の
目安


- SETボタンを押しながら**🔍** ボタンを押すと、画像が約2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- **▲/▼/◀/▶** で、上下左右方向に表示位置を変更できます。
- **🔍** ボタンを何回か押すと、拡大表示が解除されます。



- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る

撮影した画像を一度に9画像ずつまとめて表示します(インデックス再生)ので、すばやく画像を探せます。


- 1**  ボタンを押します。
9画像ずつ表示されます。



- 2** ▲/▼/◀/▶ で画像を選びます。

- 3** 大きく表示したい画像があったら、
🔍 ボタンを押します。

9画像ずつ表示を切り換える


- 1** インデックス再生中に、 ボタンを押します。
- 2** ◀/▶ で画像を切り換えます。



- SETボタンを押しながら ◀/▶ を押すと、最初または最後の画像が表示されます。
- 🔍 ボタンを押すと、インデックス再生になります。

動画を見る

撮影した動画を再生します。


- 1** ◀/▶ で、動画を選びます。
SET  が表示されている画像が動画です。



- 2** SETボタンを押します。
動画再生パネルが表示されます。



音量

- 3** ◀/▶ で、 を選び、SETボタンを押します。

動画と音声再生されます。

- ▲/▼ で音量を調節できます。
- 再生が終了すると、最後のフレームを表示して停止します。

再生の一時停止/再開

- SETボタンを押すと、再生を一時停止します。再度SETボタンを押すと、再生を続けます。



- インデックス再生のときは、動画は再生できません。

画像の送り/戻し

◀/▶で次のいずれかの操作を選び、SETボタンを押します。

- ⏪ : シングル再生に戻る
- ⏮ : 最初のフレームを表示
- ⏪⏮ : フレーム戻し (SETボタンを押し続けると巻き戻ります)
- ⏩ : フレーム送り (SETボタンを押し続けると早送りします)
- ⏭ : 最後のフレームを表示



- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がちらついたり、画像がコマ落ちすることがあります。



- 再生モード時、設定メニューでも動画の再生音量を調節できます。(p. 113)

動画を編集する

撮影した動画の前部または後部の不要な部分を削除できます。

- 1 編集したい動画を選び、SETボタンを押します。
 - ・ 動画を見る (p. 72)
- 2 ◀/▶で ⏪ (編集) を選び、SETボタンを押します。






動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

●再生する●

3 ▲/▼ で編集方法を選びます。



-  : 動画の前部を削除
-  : 動画の後部を削除
-  : 編集を中止し、動画再生パネルに戻る

4 ◀/▶ で編集位置を選びます。



編集位置

5 ▲/▼ で▶(再生)を選び、SETボタンを押します。

- ・ 仮編集された動画が再生されます。
- ・ 再生中にSETボタンを押すと、再生が停止します。

6 ▲/▼ で◻(保存)を選び、SETボタンを押します。



- ・ ◻ を選ぶと、編集内容を保存せずにシングル再生に戻ります。

7 ◀▶ で[上書き保存]または[新規保存]を選び、SETボタンを押します。



- ・ [上書き保存]：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。
- ・ [新規保存]：編集した画像に新しいファイル名をつけて保存されます。編集前のデータは残ります。
- ・ CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき、動画編集バーのカウンターに▲が表示されます。



- プロテクトされている動画は編集できません。
- 編集した動画を保存するとき、約3分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できなくなることがありますので、動画を編集するときは、未使用の単3形アルカリ電池かフル充電の単3形ニッケル水素電池(別売)またはACアダプターキットACK800(別売)の利用をおすすめします。(p. 124)



- 編集前の長さが2秒以上の動画を編集できます。
- 編集した動画の最少時間は1秒です。

回転して表示する

時計方向または反時計方向に90度回転して表示します。




0度 (元の画像)



90度



270度

- 1 再生メニューから  (回転) を選び、SET ボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)
- 2 ◀/▶で回転したい画像を選び、SET ボタンを押します。
SET ボタンを押すたびに90度→270度→元の画像を表示します。
- 3 MENU ボタンを押します。



- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込み使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

音声メモを付ける

再生中(シングル再生、インデックス再生、拡大再生)の画像に最長60秒の音声メモを付けることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。

1 再生メニューから **🎙️**(音声メモ)を選び、SETボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

2 **⏪**で音声メモを付けたい画像を選び、SETボタンを押します。




AVパネルが表示されます。

3 **⏪**で **🎙️**を選び、SETボタンを押します。

- ・録音が始まり、録音時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- ・停止するときはSETボタンを押します。引き続き録音するときは、もう一度SETボタンを押します。
- ・1画像につき、合計60秒に達するまで何度でも録音を追加することができます。

●再生する●

音声メモの再生

手順3で  (再生) を選びます。音声メモの付いた画像には [♪] が表示されています。(画像情報ありのとき)

停止するときはSETボタンを押します。引き続き再生するときは、もう一度SETボタンを押します。▲/▼ で音声を調節できます。

音声メモの消去

手順3で  を選びます。

音声メモ設定の終了

MENUボタンを押します。



- 動画には音声メモは付けられません。
- 画像に、互換性のない音声ファイルが添付されている場合、録音、再生はできません。録音、再生しようとする、「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。なお、不明な音声データはこのカメラで削除できます。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。(p. 80)



- 設定メニューでも、音声メモの音量を調節できます。(p. 113)

画像を自動再生する

CFカード内のすべての画像を自動で再生します(オートプレイ)。再生間隔は、約3秒です。

1 再生メニューから (オートプレイ) を選び、SETボタンを押します。

メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

自動再生が開始されます。

- オートプレイ中も、シングル再生中と同様に ◀/▶ で画像を送ることができます。

オートプレイの一時停止/再開

オートプレイ中にSETボタンを押すと、オートプレイが停止されます。もう一度SETボタンを押すと、再開されます。

オートプレイの終了

オートプレイ中に、MENUボタンを押すと、終了します。



- 画像によっては、再生時間が異なることがあります。
- 動画は、記録した時間で再生されます。
- オートプレイ中は、節電機能は働きません。(p. 29)

画像をプロテクトする

大切な画像を誤って消去しないようにプロテクトすることができます。

1 再生メニューから **On**(プロテクト)を選び、SETボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

2 ◀/▶ でプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押します。
プロテクトした画像には、**On** が表示されます。



プロテクトマーク

- プロテクトした画像でSETボタンを押すと、プロテクトが解除されます。
- **On** ボタンでインデックス再生に切り換えて指定できます。

3 MENUボタンを押します。

- CFカードを初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

消去する



- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。(p. 80)

1 画像ずつ消去する

- 1 ◀/▶ で消去したい画像を選び、
🗑️ ボタンを押します。



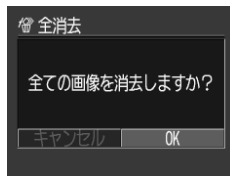
- 2 ◀/▶ で[消去]を選び、SETボタンを押します。

消去を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

全画像を消去する

- 1 再生メニューから 🗑️ (全消去)を選び、SETボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)

- 2 ◀/▶ で[OK]を選び、SETボタンを押します。




消去を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

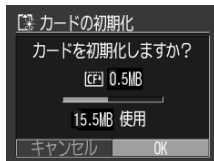
CFカードを初期化する

新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく、他のデータもすべて削除したいときは、次の方法で初期化します。



- 初期化すると、CFカードに記録されている画像(プロテクト設定してある場合でも)、データがすべて削除されます。ご注意ください。

- 1 設定メニューから  (カードの初期化)を選び、SETボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)
- 2 ◀/▶ で[OK]を選び、SETボタンを押します。



初期化を取り消す場合は、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。




- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ったあと、CFカードを入れ直し、再度初期化してください。

プリント

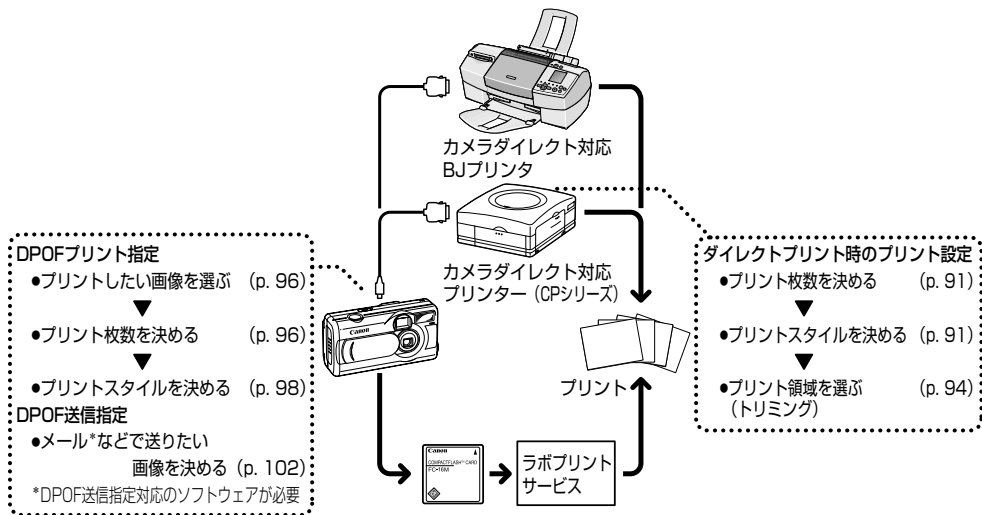
プリントについて

このカメラをカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ、別売)*¹、またはカメラダイレクト対応BJプリンタ(別売)とケーブルで直接つないで、CFカード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます(ダイレクトプリント)。また、あらかじめカメラでプリントする画像や枚数などを設定(DPOF*²プリント指定)しておけば、CFカードをラボプリントサービスにお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできるので大変便利です。

*¹ カメラダイレクト対応のCPプリンターには、ダイレクトプリントマーク  が付いています。

*² Digital Print Order Formatの略

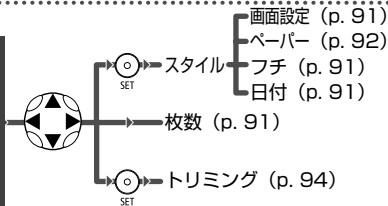
このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)は、システムマップ(別紙)でご確認ください。(また、このカメラで使えるカメラダイレクト対応BJプリンタについては、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページでご確認いただくか、キヤノン販売お客様ご相談センターにお問い合わせください。)



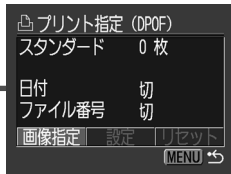
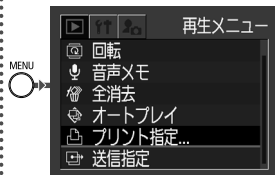
プリントメニューの選択と設定のしかた

プリント関連の設定は、プリントメニューを使って操作します。プリントメニューを使った操作は、下図のように行います。カメラは再生モードにしておいてください。

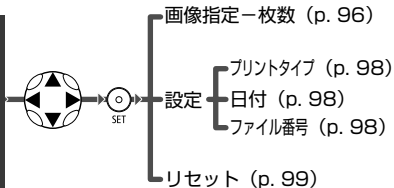
ダイレクトプリントの場合－再生時



DPOF設定の場合－再生時



プリント指定メニュー



プリンターを接続する

カメラダイレクト対応プリンター (CPシリーズ)に接続する

プリンターには、ダイレクトインターフェースケーブルが2本同梱されています。このカメラと接続するときは、コネクタに「⇐」マークがついているケーブル(DIF-100)をお使いください。



- 長時間連続してプリントするときは、ACアダプターキットACK800(p.127)またはフル充電された単3形ニッケル水素電池(p.124)、未使用の単3形アルカリ電池をお使いください。



- このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)は、システムマップ(別紙)でご確認ください。
- ペーパーやインクカセットの取り付け方は、プリンターの使用説明書をご覧ください。

1

カメラの電源を切ります。

2

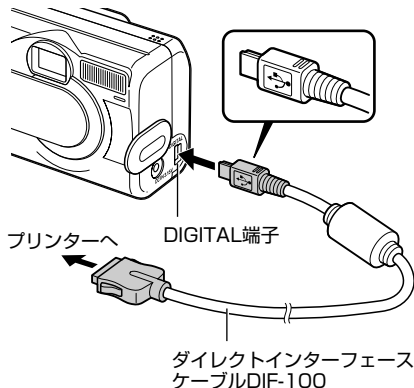
プリンターに電源ケーブルを接続したあと、電源プラグをコンセントに差し込むか、プリンター用の充電式バッテリーを取り付けます。

- 充電式バッテリーがお使いになれるかどうかは、プリンターによって異なります。プリンターに同梱されているユーザーガイドもお読みください。

3

ダイレクトインターフェースケーブルで、プリンターとカメラを接続します。

- ケーブルを差し込むときは、「⇐」マークがカメラの前面側になるように差し込んでください。




4

プリンターのメインスイッチを押して、電源を入れます。

カードフォトプリンターCP-10をお使いのときは、手順2でプリンターの電源が入ります。

5

ON ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

プリンターが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターに  が表示されます。

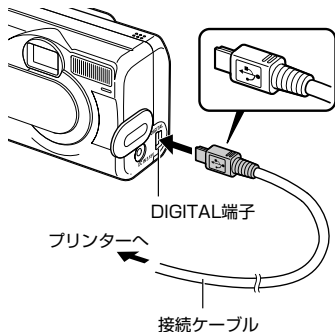



BJプリンタに接続する



●お使いのBJプリンタがカメラダイレクトに対応しているかどうか、また接続ケーブルもBJプリンタ全般に関する場合は、BJプリンタに同梱されている使用説明書も併せてご覧ください。



- 1 カメラの電源を切ります。
- 2 BJプリンタに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んだあと、BJプリンタの電源を入れます。
- 3 接続ケーブルでカメラとBJプリンタを接続します。
接続ケーブルを差し込むときは、「⇄」マークがカメラの前面側になるように差し込んでください。



- 4 ON ボタンを押して、カメラの電源を入れます。
プリンタが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターに  が表示されます。





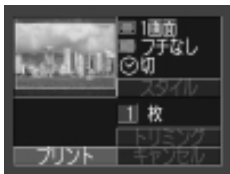
- 操作パネルのあるBJプリンタをお使いのとき、カメラと接続した場合、BJプリンタの操作パネルからのプリントはできません。
- プリンターを接続しているときは、動画の再生と、SET+MENUボタンを使った言語の設定はできません。
- プリンターとの接続を解除すると、液晶モニター左上の  または  が消え、通常の再生モードになります。
- カメラとプリンターのケーブルを取り外す
 - 1 プリンター側のケーブルを取り外す
 - 2 カメラの電源を切る
 - 3 カメラ側のケーブルを取り外す
- カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ずコネクターの側面を持って引いてください。

プリントする

* 以下の説明では、カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)接続時の画面例を使用しています。BJプリンタ接続時は「スタイル」の一部が異なります。

シングル再生またはインデックス再生中の画像をプリントします。

- 1** ◀▶ でプリントしたい画像を表示し、SETボタンを押します。
- 2** 必要に応じてプリント枚数(p. 91)、プリントスタイル(p. 91)、トリミング(p. 94)を設定します。
- 3** ▲▼◀▶ で[プリント]を選び、SETボタンを押します。
プリントが開始され、プリントが正常に終了すると再生画面に戻ります。



- 動画はプリントできません。



● プリントを中止するとき

プリント中にSETボタンを押します。確認の画面が表示されるので、◀/▶で[OK]を選び、SETボタンを押します。

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)
プリント中の画像のプリントは中止できません。次のプリントから中止され、再生画面に戻ります。

BJプリンタ

プリントが中断され、プリント中のペーパーは排紙されます。

● エラーが発生したとき

プリント中に何らかのエラーが発生したときは、エラー画面が表示されます。(p. 119)
◀/▶で[中止]または[再開]を選び、SETボタンを押します(BJプリンタの場合、エラー内容を解決すると、自動的にプリントを再開します)。

カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)
エラーの内容によっては、[再開]が表示されないこともあります。その場合は、[中止]を選びます。

BJプリンタ

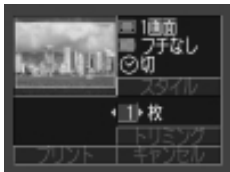
- ・エラーの内容によっては、[続行]と[中止]が表示されます。
- ・操作パネルがあるBJプリンタでは、BJプリンタの操作パネルにエラー番号が表示されます。エラー番号に対応した対処方法については、BJプリンタの使用説明書をご覧ください。

プリントの設定をする(ダイレクトプリント時)

プリンターを接続したままプリントの設定をします。

プリント枚数を設定する

- 1** 再生画面でSETボタンを押し、▲/▼で[枚]を選びます。



- 2** ◀/▶で枚数を設定します。
1～99まで設定できます。

プリントスタイルを設定する

次の内容を設定できます。

カメラダイレクト対応プリンター (CPシリーズ)

画面設定	1画面	ペーパー 1 枚に 1 画像をプリントします。
	分割画面*	ペーパー 1 枚に同一の画像を 8 画面プリントします。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいにプリントします。
	フチあり	フチを付けてプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。

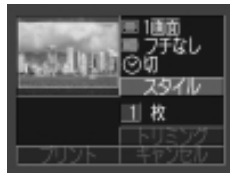
*カードサイズのペーパーにプリントするときのみ、設定できます。

●プリント●

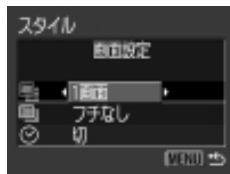
カメラダイレクト対応 BJ プリンタ

<input checked="" type="checkbox"/> ペーパー	ペーパーサイズを、L判、2L判、はがき、A4、カードから選べます。使用できるペーパーについては、BJプリンタの使用説明書をご覧ください。
<input type="checkbox"/> フチ	<input type="checkbox"/> フチなし ペーパーいっぱいにプリントします。
	<input checked="" type="checkbox"/> フチあり フチを付けてプリントします。
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	日付を入れてプリントします。

- 1 再生画面でSETボタンを押し、▲/▼で[スタイル]を選び、SETボタンを押します。



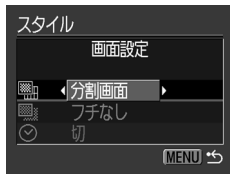
- 2 ▲/▼で[画面設定] (または[ペーパー])、[フチ]、[日付]のいずれかを選びます。



3 ◀▶ で、選びます。

画面設定

(カメラダイレクト対応プリンター
(CPシリーズ))
[1画面] または [分割画面]
を選びます。



ペーパー

(BJプリンター)
[L判]、[2L判]、
[はがき]、[A4] または
[カード] を選びます。



フチ

[フチなし] または [フチ
あり] を選びます。



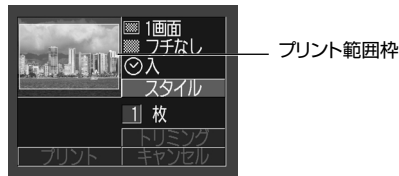
日付

[入] または [切] を選
びます。



4 MENUボタンを押します。

- [フチなし] や [分割画面] を選ぶと、
撮影した画像の上下左右がカットさ
れてプリントされます。





- DPOFのプリント指定でプリントする場合、日付は指定できません。日付はDPOFの設定でプリントされます。(p. 99)
- カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)をお使いの場合、[分割画面]で日付とフチは設定できません(日付[切]、[フチなし]でプリントされます)。
- [フチあり]を選ぶと、撮影した(液晶モニターに表示される)画像とほとんど同じ領域がプリントされます。

プリント領域を設定する(トリミング)

画像の一部をプリントできます。

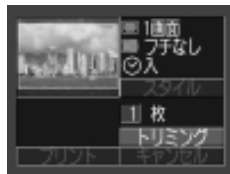


トリミングする前に

- プリントスタイル(画面設定、ペーパー、フチ、日付など)を設定してください。(p. 91)

1

再生画面でSETボタンを押し、▲/▼で[トリミング]を選び、SETボタンを押します。



2 トリミングします。



- トリミング枠の大きさを変更する
 - ・ ボタンまたは ボタンを押します。
 - ・ トリミング枠は、最小で表示画面のほぼ半分、最大で表示画面とほぼ同じ大きさまで変更できます。
 - ・ トリミング枠が最大のとき、さらに ボタンを押すと、トリミングは解除されます。
 - ・ トリミングで画像を拡大プリントする場合、拡大率によっては、プリントの画質が粗くなります。このとき、カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)をお使いの場合、トリミング枠が赤くなります。

- トリミング枠の位置を指定する
 - ・ でトリミング枠を移動します。
- トリミング枠を回転する
 - ・ DISP.ボタンを押すと、トリミング枠を回転し、縦横を変更できます。

3 SETボタンを押します。



- トリミングは、1画像にのみ設定できます。
- トリミングは、以下の操作を行うと解除されます。
 - MENUボタンを押す
 - 他の画像にトリミングを設定する
 - プリントモードを終了する(カメラの電源を切る、モードを変更する、ダイレクトインターフェースケーブルを取り外す)
 - トリミング枠が最大のとき、さらに ボタンを押す

DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで設定できます。カメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)や、カメラダイレクト対応BJプリンターに一括でプリントするときや、ラボプリントサービスに注文するとき大変便利です。

プリントする画像を選ぶ

- 1 プリント指定メニューを表示します。
プリントメニューの選択と設定のしかた
(p. 85)
- 2 [画像指定]を選び、SETボタンを押します。
- 3 ◀/▶ で画像を選びます。
 - ▶ 1画像ずつ設定するとき
☑(プリントタイプ)の設定(p. 98)により、設定方法が次のように異なります。

- (スタンダード) / (両方)
▲/▼ で枚数を決めます。(最大で99枚まで)



- (インデックス)
▲/▼ を押すと、チェックマークが付き、もう一度押すと、選択が解除されます。



☑ ボタンを押して、インデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で設定できます。

▶ CFカード内のすべての画像を設定するとき

- **☑** ボタンを押して、インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- SETボタンを押した後で、▲/▼で[全画像指定]を選び、再度SETボタンを押すと、すべての画像に対して1枚ずつプリント設定されます。

- プリントタイプが[スタンダード]/[両方]の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。[インデックス]の場合は、プリント設定の解除ができます。変更方法は、手順3のはじめからもう一度ご覧ください。
- [全指定解除]を選ぶと、すべての設定を解除できます。

4 MENUボタンを押します。



- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、**▲**が表示されます。このカメラでプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターやラボプリントサービスによっては、指定範囲内容が反映されないことがあります。
- 動画はプリント指定できません。

●プリント●



- 撮影日時の古い画像から順番にプリントされます。
- 最大998画像まで設定できます。
- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、プリント枚数は設定できません。[インデックス]では、1枚のみプリントされます。
- 同梱されているソフトウェアでもプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

次の内容を設定できます。

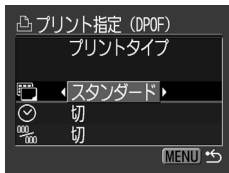
<input checked="" type="checkbox"/> スタンダード	用紙 1 枚に 1 画像をプリントします。
プrint タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> インデックス 画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
<input checked="" type="checkbox"/> 日付	日付を入れてプリントします。
ファイル番号	ファイル番号を入れてプリントします。

1 プリント指定メニューを表示します。
プリントメニューの選択と設定のしかた
(p. 85)

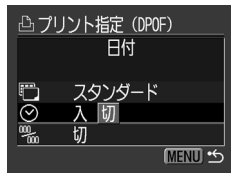
2 ◀/▶ で[設定]を選び、SETボタン
を押します。

3 ▲/▼でプリントスタイル(、)
または)を選びます。

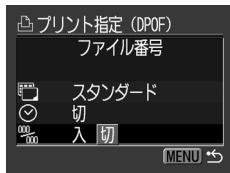
4 ◀/▶ ボタンで選びます。



(プリントタイプ)
[スタンダード]、[インデックス]、
[両方]のいずれかを選びます。



日付
[入]または[切]を選びます。




000 ファイル番号
[入] または [切] を選びます。

5 MENUボタンを押します。



- プリントタイプで[インデックス]を設定すると、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できません。
- プリントタイプで[両方]を設定すると、カメラ上では[日付]、[ファイル番号]ともに[入]の設定ができます。ただし、この場合、[インデックス]プリントには、[ファイル番号]のみプリントされます。

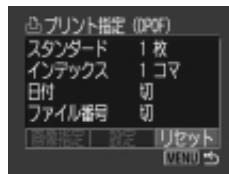


- 日付は、 で設定したスタイルでプリントされます。(p. 25)

プリントの設定をリセットする

画像のプリント指定を全て解除し、プリントタイプを「スタンダード」、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

- 1 プリント指定メニューを表示します。プリントメニューの選択と設定のしかた (p. 85)
- 2 ◀▶ で[リセット]を選び、SETボタンを押します。



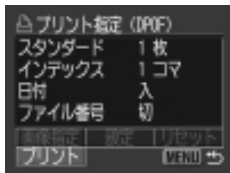
- 3 ◀▶ で[OK]を選び、SETボタンを押します。
リセットを取り消すときは、[キャンセル]を選び、SETボタンを押します。

DPOFのプリント指定でプリントする

DPOFのプリント指定内容を、別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタでプリントできます。

1 プリント指定メニューを表示します。プリントメニューの選択と設定のしかた (p. 85)

2 ▲▼◀▶で[プリント]を選び、SETボタンを押します。

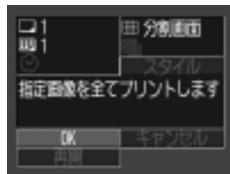


3 必要に応じてプリントスタイルを設定します。

- プリントスタイルを設定する(p. 91)
- DPOFのプリント指定で、プリントタイプに[インデックス]を選択している画像では、プリントスタイルは設定できません(BJプリンタでは、ペーパーの種類を設定できます)。

4 ▲▼◀▶で[OK]を選び、SETボタンを押します。

プリントが開始され、正常に終了すると再生画面に戻ります。





- 日付をプリントする場合は、手順2の[設定]で[日付]を[入]にします。手順3の[スタイル]では、[日付]の設定はできません。(p. 98)
なお、プリントタイプが[インデックス]の場合、手順2で[日付]を[入]に設定しても、日付はプリントされません。
- プリントタイプで[両方]を設定すると、カメラ上では、[日付]、[ファイル番号]ともに[入]の設定ができます。ただし、この場合、[インデックス]プリントには、ファイル番号のみプリントされます(BJプリンタでは、[インデックス]プリントには、日付もファイル番号もプリントできません)。
- プリントタイプが[スタンダード]の場合、ファイル番号はプリントされません。



- プリントタイプが[インデックス]の場合、ペーパー1枚にプリントされる画像数は、ペーパーによって異なります。
 - カードサイズ：20画像
 - L判：42画像
 - はがき：63画像
 (BJプリンタでプリントしたときの画像数)

- については、BJプリンタの使用説明書で、ご確認ください)
- プリントを中止するとき(p. 90)
 - プリントを再開するとき
 - プリント指定メニューで ◀/▶ で[再開]を選び、SETボタンを押します。残りの画像をプリントできます。
 - 次のような場合は、プリントの再開はできません。
 - ・ 再開する前に、プリント指定を変更した
 - ・ 再開する前に、プリント指定した画像を削除した
 - ・ プリントを中断したときに、CFカードの空き容量が少なかった
 このような場合は、プリント画面で[OK]を選択すると、1枚目から再プリントできます。バッテリーの容量がなくなって中断した場合は、ACアダプターキットACK800またはフル充電された単3形ニッケル水素電池に交換して、カメラの電源を入れてください。
 - エラーが発生したとき(p. 119)


画像送信設定 (DPOF 送信指定)

画像送信を設定する


電子メールで送信する画像などを、あらかじめカメラ側で指定しておくことができます(実際に画像を送信するときは、同梱のソフトウェアをご使用ください)。

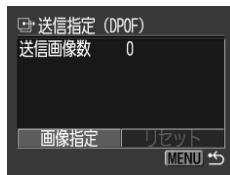
この指定は、DPOF(Digital Print Order Format)に準拠しています。



- DPOF対応のほかのカメラで送信指定されたCFカードの場合、が表示されます。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信設定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ


- 1 再生メニューから  (送信指定) を選び、SETボタンを押します。
メニューの選択と設定のしかた(p. 37)
- 2 ◀▶ で [画像指定] を選び、SETボタンを押します。



- [リセット] を選ぶと、送信設定された画像をすべて解除します。


3 送信する画像を選びます。

▶ 1画像ずつ設定するとき

- ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ で、指定/指定解除を設定します。指定したときは、チェックマークが表示されます。
-  ボタンを押してインデックス再生 (3画像表示) に切り換えても、同じ方法で指定できます。



▶ CFカード内のすべての画像を設定するとき

-  ボタンを押して、インデックス再生 (3画像表示) に切り換えます。
- SET ボタンを押した後で、▲/▼ で [全画像指定] を選び、再度 SET ボタンを押すと、すべての画像に対して1枚ずつプリント設定されます。[全指定解除] を選ぶと、すべての設定を解除できます。

4 MENU ボタンを押します。



- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

パソコンへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は、次のとおりです。

- **カメラとパソコンを接続して画像を取り込む**

カメラとパソコンを接続するだけで、簡単に画像を取り込めます。

- **CFカードから直接画像を取り込む**

ノートパソコンやカードリーダーをお使いの場合は、CFカードから直接パソコンに画像を取り込めます。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

重要

以下のOSをお使いの場合、カメラとパソコンを接続する前に、必ず同梱のCanon Digital Camera Solution Diskに収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。

Windows98(Second Editionを含む)/
Windows2000/Windows Me/
Mac OS 9.0~9.2

同梱のソフトウェアをインストールしたあと、そのソフトウェアで、簡単に画像を取り込み、プリントしたり、メールに添付して送付できます。



- ドライバとソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく接続されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。

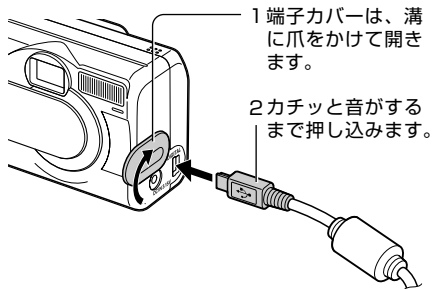
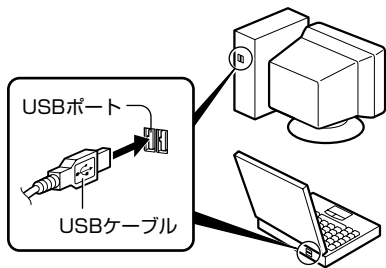
1 Canon Digital Camera Solution Diskから、ドライバとソフトウェアをインストールします。

パソコンに必要なシステム構成やインストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続します。

- USB接続の場合、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。

●パソコンへの画像の取り込み●

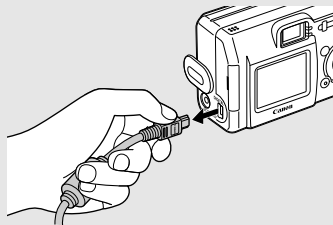


- ### 3
- ▶ON ボタンを押します。
液晶モニターに画像が表示されます。
パソコンへの接続が完了すると、液晶モニターは消え、緑色のランプが点灯します。

この後の操作については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。



- カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って、取り外してください。



ソフトウェアをインストールしないで画像を取り込む Windows XP、Mac OS X(10.1/10.2)のみ

Windows XPまたはMac OS X(10.1/10.2)をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使用するので、Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールしなくても、画像(JPEG形式のみ)を取り込むことができます。会社やお友達のパソコンに画像を取り込むときに便利です。

ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、同梱の「Windows XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

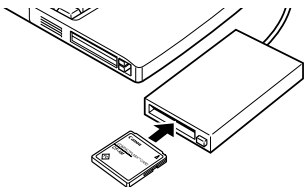
- 1 同梱のUSBケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続します。(p. 105の手順2を参照してください。)
- 2 パソコンに表示されるメッセージに従って画像を取り込みます。



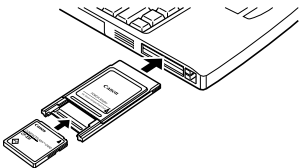
- カメラをパソコンに接続する場合、カメラの電源には別売りの家庭用電源(ACアダプターキット ACK800)をお使いになることをおすすめします。(p. 127)
- カメラの電源が入っている状態でUSBケーブルを取り外すと、カメラの電源は切れます。
- USB2.0対応ボードとの接続は、全ての動作を保証するものではありません。

CFカードから直接画像を取り込む

- 1** カメラからCFカードを取り出し、CFカードリーダーに差し込みます。



- PCカードリーダーをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター(別売)に差し込んでから、PCカードリーダーに入れてください。



- 2** CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開きます。







- 3** 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーします。

画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100~998の数字)にあります。

メニュー・メッセージ一覧


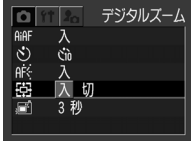



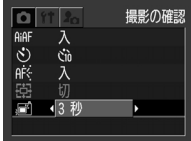

FUNC.(ファンクション)メニュー

* 初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
露出補正 	露出を調整します。(p. 63) ・ -2 ~ 0* ~ +2	色効果 	色効果を切り換えます。 (p. 67) ・ (効果切)* / (くっきりカラー) / (すっきりカラー) / (ソフト) / (セピア) / (白黒)
ホワイトバランス 	ホワイトバランスを設定します。(p. 64) ・ (オート)* / (太陽光) / (くもり) / (電球) / (蛍光灯) / (蛍光灯H) / (マニュアル)	圧縮率 	画像の圧縮率を設定します。 (p. 51) ・ (スーパーファイン) ・ (ファイン)* ・ (ノーマル)
ISO 感度 	撮影感度を設定します。 (p. 68) ・ AUTO/50*/100/200/400	記録画素数 	画像の記録画素数を設定します。(p. 51) ・ (2048x1536)* / (1600x1200) / (1024x768) / (640x480) ・ (640x480) / (320x240)* / (160x120)

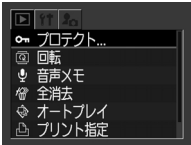
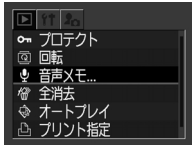
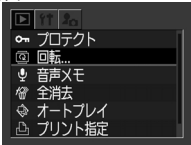
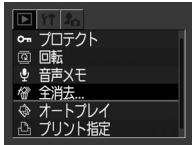
撮影メニュー

* 初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
AiAF 	AF 枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央の AF 枠に決めて撮影するかを設定します。 ・入* (p. 61) ・切	デジタルズーム 	デジタルズームの入 / 切を設定します。(p. 36) ・入* ・切
セルフタイマー 	セルフタイマー撮影のとき、シャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間を設定します。(p. 56) ・  (10 秒)* ・  (2 秒)	撮影の確認 	撮影してシャッターボタンを離した後、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。(p. 36) ・切 / 3 秒* ~ 10 秒
AF 補助光 	AF 補助光の入 / 切を設定します。(p. 35) ・入* ・切		

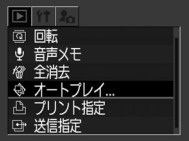
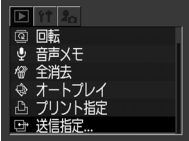
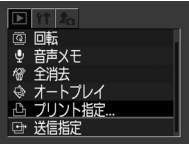
再生メニュー

* 初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
プロテクト 	消去できないようにプロテクトを設定します。(p. 80)	音声メモ 	画像に音声を追加します。(p. 77)
回転 	時計方向に90度、270度に回転して表示します。(p. 76)	全消去 	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。(プロテクトされている画像を除く) (p. 81)







●メニュー・メッセージ一覧●

*初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
<p>オートプレイ</p> 	<p>記録した画像を自動再生します。(p. 79)</p>	<p>送信指定</p> 	<p>お使いのメールソフトで送信する画像を、あらかじめカメラで指定します。(p. 102)</p>
<p>プリント指定</p> 	<p>画像をカメラダイレクト対応プリンター (CPシリーズ) やカメラダイレクト対応 BJ プリンタまたはラボプリントサービスでプリントするとき、プリントする画像や枚数を指定します。(p. 96)</p>		



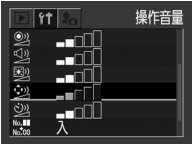


設定メニュー

* 初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
電子音 	シャッターボタンを押したときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。(p. 35) ・入*/切 エラー時の警告音は、[切]でも鳴ります。	カードの初期化 	CFカードを初期化します。(p. 82)
節電 	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。(p. 29) ・入*/切	シャッター音量 	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。(p. 41) ・切/1/2*/3/4/5
日付/時刻 	日付、時刻、日付スタイルを設定します。(p. 25)	再生音量 	動画再生時、音声メモ音量を調節します。(p. 72) ・切/1/2*/3/4/5







●メニュー・メッセージ一覧●

*初期設定

項目・画面	内容	項目・画面	内容
<p>起動音量</p> 	<p>カメラ起動時の音量を調節します。(p. 41)</p> <p>・切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5</p>	<p>番号リセット機能</p> 	<p>ファイル番号の付け方を設定します。(p. 41)</p> <p>・入</p> <p>・切*</p>
<p>操作音量</p> 	<p>操作時の音量を調節します。(p. 41)</p> <p>・切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5</p>	<p>言語</p> 	<p>液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。(p. 26)</p> <p>English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語*</p>
<p>セルフタイマー音</p> 	<p>撮影 2 秒前から撮影までのセルフタイマー音の音量を調節します。(p. 41)</p> <p>・切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5</p>		

マイカメラメニュー

* 初期設定

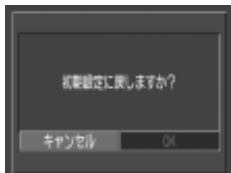
項目・画面	内容	項目・画面	内容
セット 	起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に共通するテーマを選びます。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2	操作音 	シャッター以外のボタンを操作したときの音を選びます。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2
起動画面 	電源を入れたときの起動画面を選びます。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2	セルフタイマー音 	セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を選びます。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2
起動音 	電源を入れたときの起動音を選びます。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2	シャッター音 	シャッターを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。(p. 43) ・ サウンド (切)/ 1 */ 2 / 2

設定を初期設定に戻す

[日付/時刻]、[言語]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定をすべて初期設定に戻します。

1 カメラの電源を入れます。
撮影、再生、どちらのモードでも構いません。

2 MENUボタンを5秒以上押しつづけます。
液晶モニターに「初期設定に戻しますか？」のメッセージが表示されます。



3 ◀▶で[OK]を選び、SETボタンを押します。

- 初期設定に戻すのをやめるときには、「キャンセル」を選択し、SETボタンを押します。



- マニュアルホワイトバランスで記憶した白データは、初期設定に戻りません。(p.64)
- パソコン接続時、別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)、またはカメラダイレクト対応BJプリンタ接続時は設定できません。

メッセージ一覧

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

処理中...	: 撮影した画像をCFカードに記録しています。再生モードを起動中です。
--------	-------------------------------------

カードがありません	: CFカードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとした。
-----------	-------------------------------------

記録できません	: CFカードがカメラに入っていないのに撮影しようとした。
---------	-------------------------------

カードが異常です	: CFカードに異常があります。
----------	------------------

カードがいっぱいです	: CFカードの容量いっぱい画像が記録されていて、これ以上画像を記録できません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
------------	---

ファイル名が作れません	: カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CFカードを初期化してください。なお、初期化すると、CFカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
-------------	--

バッテリーを交換してください	: 電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに2本ともすべて未使用の単3形アルカリ電池(p. 20)に交換するか、充電された充電電池に交換してください。
----------------	--

●メニュー・メッセージ一覧●

画像がありません	: CFカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	: 3200×2400画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしてしました。
互換性のないJPEGです	: 互換性のないJPEGフォーマットの画像を再生しようとしてしました。
データが壊れています	: データが破壊されている画像を再生しようとしてしました。
RAW	: RAWの画像を再生しようとしてしました。
認識できない画像です	: 動画や特殊なフォーマット(他社カメラ特有の記録フォーマットなど)で撮影した画像を再生しようとしてしました。
拡大できない画像です	: 別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を拡大しようとしてしました。
回転できない画像です	: 別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしてしました。
互換性のないWAVEです	: 登録済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
プロテクトされています	: プロテクトされている画像を消去しようとしてしました。

指定が多すぎます	: プリント指定の画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
登録できない画像です	: このカメラ以外で撮影した画像を起動画面に登録しようとした。
指定できない画像です	: JPEG以外のファイルをプリント指定しようとした。
Exx	: カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示される場合は、故障ですので「xx」の数値を控えサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

別売のカメラダイレクト対応プリンター(CPシリーズ)でのプリント中に、カメラの液晶モニターに表示されるメッセージには、以下のものがあります。(プリンターによっては、表示されないメッセージもあります)

ペーパーがありません	: ペーパーカセットが正しく入っていません。またはペーパーカセット内にペーパーがありません。
インクがありません	: インクカセットが入っていません。またはインクカセットのインクがありません。
指定外のペーパーです	: プリントできないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられました。

●メニュー・メッセージ一覧●

-
- 指定外のインクです** : プリントできない種類のインクカセットがプリンターに取り付けられました。
-
- インクカセットが異常です** : インクカセットに異常があります。
-
- ペーパーとインクが不一致です** : ペーパーのサイズとインクの組み合わせが正しくありません。
-
- ペーパーが詰まりました** : プリント中にペーパーが詰まりました。
-
- ペーパーが変更されています** : プリントスタイルメニュー表示時から、プリントを開始するまでの間に、ペーパーのサイズが変わりました。
-
- プリンターバッテリー切れです** : プリンターの電池がありません。
-
- 通信エラー** : 通信中にエラーが発生しました。
-
- トリミングの再設定が必要です** : トリミング設定時と異なるスタイルでプリントしようとしてしました。
-
- プリントできない画像です** : 別のカメラ、もしくは異なるフォーマットで撮影した画像、または、パソコンに取り込んで加工した画像をプリントしようとしてしました。
-
- プリントできない画像がXX枚ありました** : 別のカメラで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像をxx枚、DPOF設定でプリントしようとしてしました。
-

カメラダイレクト対応BJプリンタに接続しているときは、以下のメッセージも表示されることがあります。

BJプリンタに表示されるエラー番号を確認し、BJプリンタの使用説明書も合わせてご覧ください。
(機種によっては、メッセージやエラー番号が表示されません)

プリンターは使用中です : パソコン、またはプリンターに差し込まれたメモリーカードからプリントしています。
プリントが終了すると自動的に、カメラ内の画像のプリントを開始します。

プリンターは準備中です : プリンターを準備しています。準備が終了すると、自動的にプリントを開始します。

プリントヘッド未装着 : プリントヘッドが取り付けられていません。

プリンタカバーが開いています : プリンターのフロントカバーを閉じてください。

ペーパーの種類が違います : プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。[プリントスタイル]で、使用できるペーパーを選んでください。

紙間レバー位置が不正です : 紙間選択レバー位置を正しい位置にしてください。

●メニュー・メッセージ一覧●

-
- インクが残りわずかです** : そろそろインクタンクの交換時期です。新しいインクタンクをご用意ください。エラー画面で[続行]を選ぶと、プリントを再開します。(このメッセージが表示されない機種もあります)
-
- 廃インクタンクが満杯です** : BJプリンタのリセットボタンを押すとプリントを再開しますが、お早めに修理受付窓口(BJプリンタに付属の一覧を参照)に廃インクタンクの交換を依頼してください。
-
- プリンタートラブル発生** : プリンターの電源を入れ直してください。それでもエラーが表示される場合は、BJプリンタの使用説明書に記載されている最寄りのサービスセンターにご相談ください。
-

コイン電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日付/時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン電池(CR2016)をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

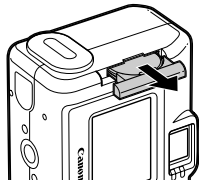
(最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池性能が規定と異なることがあります。)



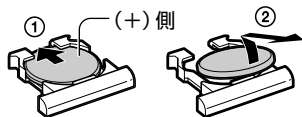
- コイン電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認します。

2 コイン型電池ホルダーを矢印の方向に取り出します。



3 コイン型電池を①の矢印の方向に少しずらし、②の矢印の方向に引き抜くように取り出します。



4 新しいコイン電池を、(+)側を上にして取り付けます。

5 コイン電池ホルダーを元の位置に戻します。

6 日付/時刻設定メニューが表示されたら、日付/時刻を設定します。
(p. 25)

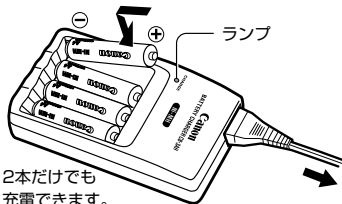


- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付/時刻の設定画面が表示されますが、コイン電池を交換する必要はありません。

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う

(バッテリー/チャージャーキット CBK100)



* 2本だけでも
充電できます。



- バッテリー/チャージャーキット CBK100には、電池が4本同梱されていますが、このカメラでは2本使用します。
- 充電中はランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。



- このバッテリーチャージャーでは、キヤノン単3形ニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。
- 未使用の電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している2本を同時に充電してください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニターに「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。

- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
- 電池の使用可能時間が著しく短いとき
- 記録画素数が著しく少ないとき
- 電池を充電するとき(さらに、電池の取り付けと取り外しを2~3回繰り返してから充電してください)
- 電池充電時間が数分程度で終了する(バッテリーチャージャーのランプが点灯する)とき
- 電池の特性により、お買い求め直後や長時間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- フル充電の状態でも長期間(1年くらい)保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因になることがありますので、カメラで電池を使い切ってから常温(23℃以下)の涼しいところで保管することをおすすめします。また、長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

- 電極を拭いてからランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン単3形ニッケル水素電池をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。



- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、2本のとき約110分、4本のとき約220分です(当社測定基準による)。0～35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲温度や充電状態により異なります。



Ni-MH

- ・この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ・この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ・この電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ確認できます。
キヤノンサポートページ canon.jp/support
- ・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- ・リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
(社)電池工業会 小形二次電池再資源化推進センター
及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*
*(社)電池工業会 電話番号 03-3434-0261

リサイクル時のご注意

- ・電池を分解しないでください。

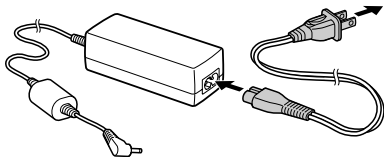
ACアダプターキットACK800を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットACK800(別売)のご利用をおすすめします。



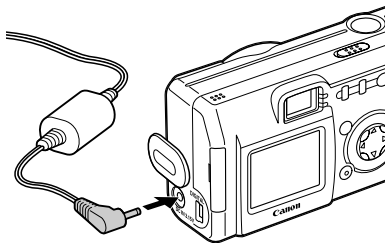
- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。

- 1 コンパクトパワーアダプターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 2 端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをカメラのDC IN端子に接続します。

- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ACアダプターキットACK800以外の電源キットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

海外で使うとき














このデジタルカメラは、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

電源について

コンパクトアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります。(1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります。)

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	コンセントの形状	変換プラグ
A	 	不要です
B		
BF		
C	  	
S	 	

主な国名と使用するプラグの種類

●北米							
アメリカ合衆国	A	フランス	C	マカオ特別行政区	B.C	ベネズエラ	A
カナダ	A	ベルギー	C	マレーシア	B.BF.C	ペルー	A.C
●ヨーロッパ		ポーランド	B.C	●オセアニア		メキシコ	A
アイスランド	C	ポルトガル	B.C	オーストラリア	S	●中近東	
アイルランド	C	ルーマニア	C	グアム	A	イスラエル	C
イギリス	B.BF	●アジア		タヒチ	C	イラン	C
イタリア	C	インド	B.C.BF	トンガ	S	クウェート	B.C
オーストリア	C	インドネシア	C	ニュージーランド	S	ヨルダン	B.BF
オランダ	C	シンガポール	B.BF	フィジー	S	●アフリカ	
ギリシャ	C	スリランカ	B.C.BF	●中南米		アルジェリア	A.B.BF.C
スイス	C	タイ	A.BF.C	アルゼンチン	BF.C.S	エジプト	B.BF.C
スウェーデン	C	大韓民国	A.C	コロンビア	A	カナリア諸島	C
スペイン	A.C	中華人民共和国	A.B.BF.C.S	ジャマイカ	A	ギニア	C
デンマーク	C	ネパール	C	チリ	B.C	ケニア	B.C
ドイツ	C	パキスタン	B.C	ハイチ	A	ザンビア	B.BF
ノルウェー	C	バングラディシュ	C	パナマ	A	タンザニア	B.BF
ハンガリー	C	フィリピン	A.BF.S	バハマ	A	南アフリカ共和国	B.C.BF
フィンランド	C	ベトナム	A.C	プエルトルコ	A	モザンビーク	C
		香港特別行政区	B.BF	ブラジル	A.C	モロッコ	C



- ACアダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行者用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行で故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

カメラ	やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ったあと、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 <ul style="list-style-type: none">● カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください）にご相談ください。
ファインダー 液晶モニター	市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 <ul style="list-style-type: none">● 液晶モニターの表面を強くこすったり、押ししたりすると、表面にキズがつきますので、ご注意ください。



- 絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

故障かなと思ったら

現象	原因	対処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●電源を入れてください。(電源を入れる/切る (p. 28))
	CFカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	●CFカードスロット/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に2本とも交換してください。 ●AC電源を使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 (電池の取り扱いについて (p. 22))
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モードになっています。	●撮影モードに切り替えてください。 (撮影/再生を切り換える (p. 29))
	ストロボが充電中です。	●充電が完了すると、ランプが橙色に点灯しますので、シャッターボタンを押してください。

現 象	原 因	対 処
撮影ができない	CFカードの容量がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいCFカードを入れてください。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しく初期化されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ●CFカードを初期化してください。(CFカードを初期化する (p. 82)) ●CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
動画撮影時、途中で中断する	お使いのCFカード（書き込み速度が遅い、他のカメラやパソコンで初期化した、撮影/消去を繰り返した、など）によっては、途中で撮影が中断することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ●動画を撮影するときは、このカメラで初期化したCFカードをお使いください。(p. 59) 同梱のCFカードは、そのままお使いになれます。1640で動画撮影するときは、CFカードFC-256MH（別売）をお使いになることをおすすめします。
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	<ul style="list-style-type: none"> ●未使用の単3形アルカリ電池、またはキヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。(電池の取り扱いについて (p. 22))
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	<ul style="list-style-type: none"> ●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。

現 象	原 因	対 処
電池の消耗が早い	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1年以上お使いにならなかったために、充電電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電電池の性能が悪くなっています。	●2本ともすべて新しい充電電池と交換してください。
別売のバッテリーチャージャーで充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●充電電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源ケーブルをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかりと差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電池の電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。
	充電電池の性能が悪くなっています。	●2本ともすべて新しい充電電池と交換してください。

現象	原因	対処
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、オートフォーカスが機能していません。	●AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光設定が「切」になっています。	●撮影メニューの「AF補助光」を「入」にしてください。(p. 110)
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から20cm以上離してください。 ●被写体から5~20cmの距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。 ●遠くの被写体を撮影するときは、遠景モードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロックで撮影してください。(フォーカスロックで撮影する(p. 60))
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを常時発光にしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください。
	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から2m以内に近づけてください。

現象	原因	対処
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎて、ストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から20cm以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラの角度を変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	●ストロボを常時発光以外にしてください。
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に、空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。	●デジタルカメラ特有の現象で、カメラの故障ではありません。
液晶モニター上に縦に赤い帯が表示される	被写体が極端に明るすぎます。	●CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません。)
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	●ストロボを発光禁止以外にしてください。
CFカードからの画像の読み出しが遅い CFカードへの画像の記録時間が長い	違う機器で初期化したCFカードが入っています。	●このカメラで初期化したCFカードをお使いください。(CFカードを初期化する(p. 82))

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。
都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A300

カメラ部有効画素数	約320万画素
撮像素子	1/2.7型CCD (総画素数 約330万画素)
レンズ	5mm (35mmフィルム換算 33mm)、F3.6
デジタルズーム	最大約5.1倍
光学ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー
液晶モニター	1.5型TFT LCD 約6.7万画素
オートフォーカス	TTL 5点 AiAF / TTL 中央1点AF フォーカスロック可能
撮影距離	通常撮影時：20cm～∞ マクロ撮影時：5～20cm
シャッター	メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッタースピード	1～1/2000秒 •1～1/6秒はマニュアルモードの [ストロボオフ]、または [スローシンクロ] 時、 またノイズリダクション処理あり
測光方式	評価測光 / 中央部重点平均測光 / スポット測光
露出制御方式	プログラムAE
露出補正	±2段 (1/3段ステップ)
感度	オート / ISO 50 / 100 / 200 / 400相当

ホワイトバランス	オート / プリセット (太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H) / マニュアル
ストロボ	赤目緩和オート / オート / 常時発光 / 発光禁止 / スローシンクロ
ストロボ連動範囲	20cm~2m (感度オート時)
撮影モード	オート / マニュアル / スティッチアシスト / 動画
連続撮影	約2.2画像/秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
セルフタイマー	約2秒後 / 約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	USB接続時、RemoteCapture (同梱のソフトウェア) で撮影可能
記録媒体	コンパクトフラッシュカード (Type I)
画像ファイルフォーマット	DCF* ¹ 、DPOF対応
画像記録フォーマット	静止画 : JPEG (Exif2.2)* ² 動画 : AVI (画像データ : Motion JPEG、音声データ : WAVE (モノラル))
圧縮率	スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数	静止画 ラージ : 2048 × 1536画素 / ミドル1 : 1600 × 1200画素 ミドル2 : 1024 × 768画素 / スモール : 640 × 480画素
	動画 640×480画素 (約30秒)* ³ / 320×240画素 (約3分) / 160×120画素 (約3分) 約15フレーム/秒 () 内は1回の最長記録時間
再生モード	シングル再生 / インデックス再生 (サムネイル9画像) / 拡大再生 (液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能) / オートプレイ / 音声メモ (最大約60秒まで記録可能) / 専用プリンター (CP-100、CP-10) への画像出力 (ダイレクトプリント)

●主な仕様●
















表示言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 汉语 / 日本語
マイカメラ (カスタマイズ) 機能	起動画面/起動音/シャッター音/操作音/セルフタイマー音を、以下の方法で設定可能。 1. このカメラで記録 2. 同梱のソフトウェアやオンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」からダウンロード
Canon Image Gateway対応機能	同梱のソフトウェアを使って、Canon Image Gatewayの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	USB (mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol])
電源	単3形アルカリ電池 (同梱) / 単3形充電式ニッケル水素電池 ACアダプター キット ACK800 (別売)
動作温度	0~40℃
動作湿度	10~90%
大きさ (幅×高さ×奥行き)	110×58×36.6mm (突起部を除く)
質量	約175g (本体のみ)




*1 DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を関連機器で簡単に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

*2 このデジタルカメラは、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。







*3 CFカードFC-256HM(別売)使用時の1回の最長撮影時間です。

CFカードの種類と記録画像数の目安

		FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M	FC-256MH
L (2048×1536画素)	 S	8	18	38	76	154
	 F	16	33	68	137	276
	 N	32	67	136	274	548
M1 (1600×1200画素)	 S	14	30	61	122	246
	 F	26	54	109	219	440
	 N	52	108	217	435	868
M2 (1024×768画素)	 S	25	53	107	215	431
	 F	46	94	189	379	762
	 N	84	174	349	700	1390
S (640×480画素)	 S	58	120	241	482	962
	 F	94	196	393	788	1563
	 N	165	337	676	1355	2720
動画	 (640×480画素)	14秒	30秒	61秒	124秒	249秒
	 (320×240画素)	44秒	91秒	183秒	368秒	735秒
	 (160×120画素)	118秒	242秒	486秒	973秒	1954秒

* 動画の1回の撮影時間  : 約30秒*、 : 約3分、 : 約3分

表中の数値は、繰り返し撮影した場合の記録可能時間です。 * 別売のCFカードFC-256MH使用時

- ・ **L** (ラージ)、**M1** (ミドル1)、**M2** (ミドル2)、**S** (スモール)、、、 は記録画素数を表します。
- ・  (スーパーファイン)、 (ファイン)、 (ノーマル) は、圧縮率を表します。

●主な仕様●

1 画像の容量 (目安)

	L (2048×1536画素)	M1 (1600×1200画素)	M2 (1024×768画素)	S (640×480画素)
s スーパーファイン	1602KB	1002KB	570KB	249KB
f ファイン	893KB	558KB	320KB	150KB
n ノーマル	445KB	278KB	170KB	84KB

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示	液晶モニター非表示	
単3形アルカリ電池 (同梱品)	約75画像	約210画像	約90分
単3形ニッケル水素電池 (NB-1AH)	約200画像	約450画像	約120分

・上記データは当社測定条件によるもので、撮影状況、撮影モードなどによっても異なります。

<測定条件>

撮影：常温（23℃）、20秒間隔で撮影を繰り返し、4回に1回ストロボ使用、8回に1回電源をOFF/ON操作

再生：常温（23℃）、1画像あたり3秒間隔で連続再生

電池の取り扱いについて (p. 22)

ニッケル水素電池 NB-1AH

(別売のニッケル水素電池 NB4-100
またはバッテリー/チャージャーキット CBK100に同梱)

形式	単3形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	1600mAh (最小:1550mAh)
充放電回数	約300回(目安)
使用温度	0~35℃
大きさ	直径: 14.5mm 長さ: 50mm
質量	約27g

バッテリーチャージャー CB-3AH

(別売のバッテリー/チャージャーキット CBK100に同梱)

定格入力	AC100~240V(50/60Hz)/ 14VA
定格出力	DC1.6V/2A
充電時間	4本のととき約220分 2本のととき約110分
使用温度	0~35℃
大きさ	113X74X27.5mm
質量	約100g(本体のみ)

コンパクトパワーアダプター CA-PS800

(別売のACアダプターキット ACK800に同梱)

定格入力	AC100~240V (50/60Hz)/ 16VA(100V)~26VA(240V)
定格出力	DC 3.15V/2A
使用温度	0~40℃
大きさ	42.5X104X31.4mm
質量	約180g(本体のみ)

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	Type I
大きさ	36.4X42.8X3.3mm
質量	約10g

索引

アルファベット

ACアダプターキットACK800を使う	127
AF補助光	35
AF補助光投光部	4
AiAF	61
Canon Image Gateway	48
CFカード	
CFカードスロット/バッテリーカバー	5
CFカードについて	24
DPOF	96, 102
入れる	20
種類と記録画像数の目安	139
初期化する	82
DC IN端子	4, 127
DIGITAL端子	4, 87
DPOF	96
ISO感度	68

ア行

赤目緩和機能	53, 54
赤目緩和ランプ	4, 53
圧縮率	51
色効果	67
インデックス再生	71

液晶モニター	
使い方	30
表示される情報	32
遠距離	55
オートフォーカス	34, 61
音声メモ	77
オンラインアルバムサービス	48
オンラインプリントサービス	49

カ行

海外で使うとき	128
拡大表示	70
画像送信設定 (DPOF 送信指定)	102
画像の容量	140
カメラのお手入れ	130
カメラの設定	
AF補助光	110
AiAF	110
カードの初期化	113
撮影の確認	110
初期設定に戻す	116
節電機能	113
デジタルズーム	110
電子音	113

番号リセット機能	114
機能一覧	146
記録画素数	51
言語の設定	26
コイン電池の交換	123

サ行

再生	
1 画像ずつ見る	70
9 画像ずつまとめて見る	71
回転して表示	76
自動再生	79
再生メニュー	111
撮影	50
撮影メニュー	110
至近距離	55
時刻	25
シャッターボタン	35
消去	
1 画像ずつ消去する	81
全画像を消去する	81
初期設定	40, 116
シングル再生	70
スティッチアシスト	

撮影する	58
被写体のとらえ方	57
ストラップ	5
ストロボ	53
スピーカー	5
設定メニュー	113
節電機能	29
セルフタイマー	56
全押し	35
測光方式	62

タ行

端子カバー	4, 106
デジタルズーム	36
電源キットを使う	
充電式バッテリーを使う	124
電源を入れる	28
電池	
入れる	20
電池残量について	24
電池性能について	140
電池の取り扱いについて	22
動画	
音声メモ	77

●索引●

再生する	72	プリントについて	83
撮影する	59	プリントの設定 (ダイレクトプリント時)	91
編集する	73	メニューの選択と設定	85
八 行		プロテクト	80
半押し	35	ホワイトバランス	64
パソコンへの画像の取り込み		マ 行	
CFカードから直接画像を取り込む	108	マイカメラ機能	43
PCカードリーダーをお使いの場合	108	マイカメラメニュー	115
カメラとパソコンを		マイク	4, 77
接続して画像を取込む	105	マクロ	55
日付	25	メニュー	37
ファイル番号	69	ラ 行	
ファインダー	34	ランプ	6
ファンクションメニュー	109	連続撮影	56
フォーカスロック	60	露出補正	63
プリント			
DPOFのプリント指定	96		
DPOFのプリント指定でプリントする	100		
設定のリセット	99		
プリンターの接続	86		
プリントスタイル	91, 98		
プリントする	89		
プリントする画像の選択	96		

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)



Ni-MH















ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。











この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。


- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
 - ②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
 - ③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
 - ④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- CanonおよびPowerShot、BJは、キヤノン株式会社の商標です。
 - Canon Image GatewayおよびImage Gatewayは、日本国内において商標登録出願中です。
 - CompactFlash(コンパクトフラッシュ)は、SanDisk Corporationの商標です。
 - DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
 - DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
 - iBookおよびiMacは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
 - MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、QuickTimeは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
 - MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
 - その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。

機能					参照先	
記録 画素数	ラージ L * ミドル1 M1	○	○	△	p. 51	
	ミドル2 M2 スモール S	○	○	△		
	動画 1640 1320 * 1160	—	—	—		○
圧縮率	スーパーファイン 	○	○	△	p. 51	
	ファイン 	○*	○*	△*		—
	ノーマル 	○	○	△		—
	オート 	○	○	—		—
ストロボ	常時発光 (赤目緩和) 	○*	○*	—	p. 53	
	常時発光 	—	○	△		—
	発光禁止 	○	○	△*		○*
	スローシンクロ 	—	○	△		—
マクロ撮影 	○	○	△	○	p. 55	
遠景撮影 	—	○	△	○	p. 55	

機能					参照先
撮影方法					
シングル撮影	 ○*	○*	△*	○*	
連続撮影	 —	○	—	—	p. 56
セルフタイマー	 ○	○	△	○	
露出補正	—	○	△	○	p. 63
測光方式					
評価測光	 —	○	—	—	
中央部重点平均測光	 —	○	—	—	p. 62
スポット測光	 —	○	—	—	
ホワイトバランス	—	○	△	○	p. 64
色効果	—	○	△	○	p. 67
ISO 感度	— ⁽¹⁾	○	— ⁽¹⁾	— ⁽¹⁾	p. 68
AF 方式の選択	—	○	—	—	p. 61
デジタルズーム	○	○	—	—	p. 36
AF 補助光	○	○	△	○	p. 35

* 初期設定 ○：設定可 △：最初の 1 画像のみ設定可
 電源を切っても解除されません。

⁽¹⁾ カメラが自動的に設定します